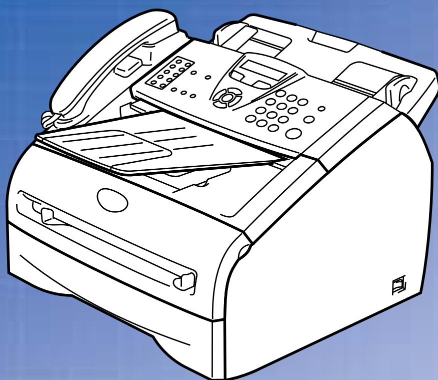
JUSTIO 複合機

brother

FAX-2810N

ユーザーズガイド

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 7章「こんなときは」で調べる 127ページ

2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル オンラインユーザー登録をお勧めします。
https://myportal.brother.co.jp/
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version A JPN

やりたいことがすぐ探せる！ やりたいこと目次 10P

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』をご覧いただき設置および接続が終了したら、『ユーザーズガイド（本書）』で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

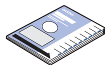
「かんたん設置ガイド」



・設置する
・コンピューターへの接続
・ドライバーのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

「ユーザーズガイド」（本書）



・ファクスを送る
・コピーする
・日常のお手入れ
・消耗品や部品の交換

CDに格納されています

PDF（CD-ROM）



ユーザーズガイド（CD-ROM同梱PDF）

以下の内容が含まれています

■「パソコン活用編」

・プリンターとして使う
・コンピューターからファクスを送信する

■「ネットワーク操作編」

・ネットワークの設定方法
・ウェブブラウザーで本製品を管理する
・ネットワークトラブルの対処方法

CD-ROMに収録されているユーザーズガイド（PDF版）を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

コンピューターにドライバーをインストールするとWindows®のスタートメニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。
[スタート]メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）]－[Brother]－[FAX-2810N]－[画面で見るマニュアル（PDF形式）]を選んでください。

Macintoshの場合

1. 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする。
2. [ユーザーズガイド]をダブルクリックする。
3. [fax2810N_jpntop.pdf]をダブルクリックする。

サポートサイトからもダウンロードできます

PDF

「ユーザーズガイド」
「かんたん設置ガイド」
「パソコン活用編」
「ネットワーク操作編」

最新のドライバーや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的におこなっております。
最新のドライバーやファームウェアをサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバーを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本製品にトラブルがあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/へ

目　次

必要に応じて設定してください

ファクス送信

ファクス受信

設定機能の初期化

困ったときには

本製品を再梱包するときは

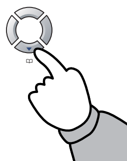
やりたいこと目次

各機能をご利用になる前に「第1章 ご使用の前に」を必ずお読みください。

ファクス

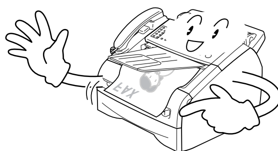
簡単に送信したい。（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）

⇒76ページ「便利にダイヤルする」



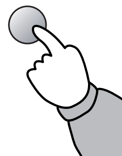
自動で受信したい。（自動受信）

⇒47ページ「受信モードの種類」



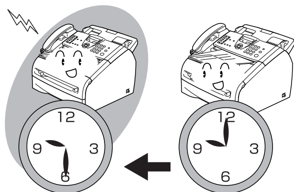
画質を調整したい。（画質調整）

⇒80ページ「画質を設定する」



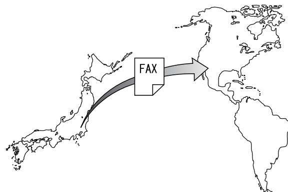
指定した時刻に送信したい。（タイマー送信）

⇒88ページ「指定時刻に送信する〔タイマー送信〕」



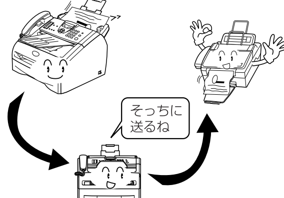
海外に送信したい。（海外送信）

⇒87ページ「海外へ送信する〔海外送信モード〕」



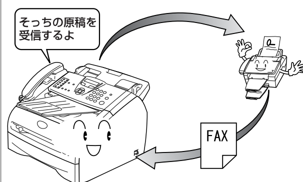
外出先で受信したい。（ファクス転送）

⇒106ページ「電話呼び出し機能とファクス転送」



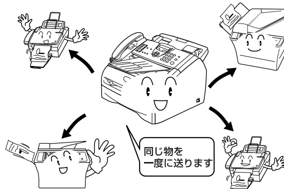
受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。（ポーリング）

⇒94ページ「本製品の操作で相手の原稿を受信する」



複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。（同報送信）

⇒83ページ「同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕」



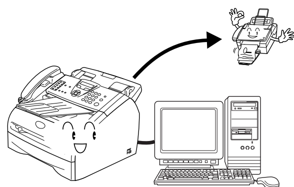
ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい。

⇒67ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」



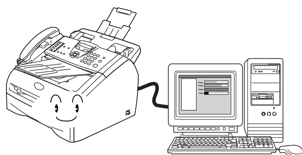
コンピューターからファクスを送信したい。

⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」



コンピューターを使って短縮ダイヤルなどの設定を簡単に行いたい。

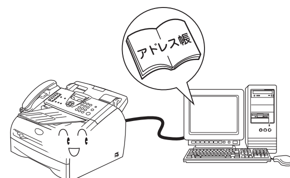
⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」



アドレス帳を利用したい。[PCファクスアドレス帳]（Windows®のみ）

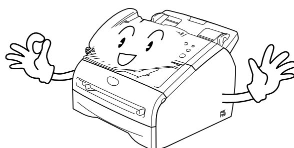
PCファクスを送るときに利用するアドレス帳を作成できます。
Windows®メールやOutlook®、Outlook® Expressのアドレス帳データを使用することもできます。

⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」



ユーザーごとに使える機能を制限したい。

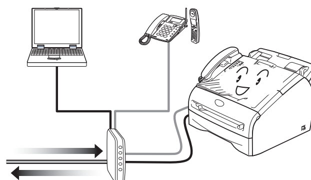
⇒ 64 ページ「セキュリティ機能の設定について」



次世代ネットワーク（NGN）を使ってIPファクス（T.38準拠）を送信したい。

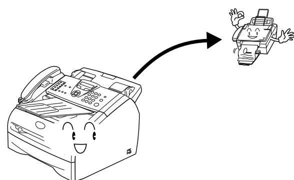
IP ファクスとは、IP ネットワークを使って送信するファクスです。次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

⇒69ページ「IPファクスの設定をする」

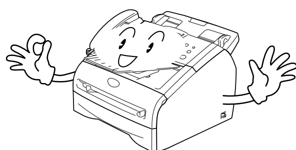
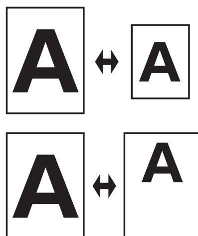
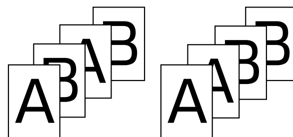
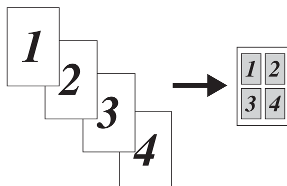
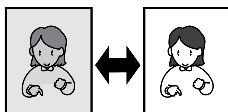
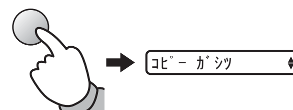


ファクスを送信する前に番号を確認してから送りたい。

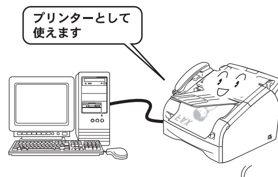
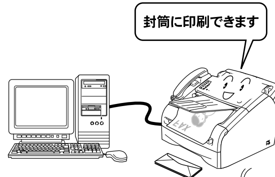
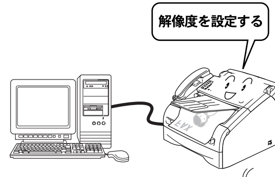
⇒ 79 ページ「ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）の設定について」



コピー

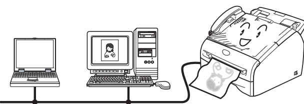
たくさんの文書を連続コピーしたい。(ADF : 自動原稿送り装置) ⇒120ページ「コピーする」 	拡大/縮小コピーしたい。 ⇒122ページ「拡大･縮小コピーをする」 	効率よく複数部コピーしたい。 ⇒124ページ「ソートコピーかスタックコピーかを設定する」 ソートコピー　スタックコピー 
2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。(2 in 1、4 in 1) ⇒125ページ「N in 1コピー」 	コントラストを変えたい。 ⇒123ページ「コントラストを調整する」 ⇒126ページ「コントラスト設定を変更する」 	画質をきれいにコピーしたい。 ⇒123ページ「コピーの画質を設定する」 ⇒126ページ「画質の設定を変更する」 オプション 

プリンター

プリンターとして使いたい。 ⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」 	封筒に印刷したい。 ⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」 	印刷設定を変更したい。 ⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」 

ネットワーク内で本製品を共有プリンターとして使いたい。

⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」

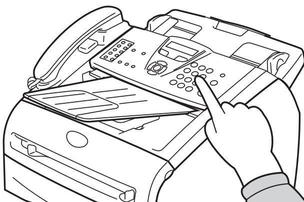


その他

操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。

操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。

⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」



ウェブブラウザーを使って本製品を管理したい。

標準のウェブブラウザーから本製品にHTTPを使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。

⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」

BRAdmin Light を使って本製品を管理したい。

付属のソフトウェア BRAdmin Light を使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。

⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」

※Macintosh をご使用の場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードして使用することができます。

コンピューターから本製品の状態を確認したい。[ステータスモニター]

⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」



規格について

VCCI 規格

この機器は、クラス B 情報技術装置です。この機器は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968 年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス 1 レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。



（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

JIS C 61000-3-2 適合品
本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品（トナーカートリッジ、ドラムユニット）の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたトナーカートリッジやドラムユニットの回収にご協力をお願いいたします。詳しくはホームページを参照してください。
http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収



本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。
事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。
一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



ご使用いただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	「してはいけないこと」を示しています。		「分解してはいけないこと」を示しています。		「水ぬれ禁止」を示しています。
	「火気に近づけてはいけないこと」を示しています。		「さわってはいけないこと」を示しています。		「可燃性スプレーを使用してはいけないこと」を示しています。
	「しなければいけないこと」を示しています。		「アルコールなどの有機溶剤や液体を使用してはいけないこと」を示しています。		
	「必ずアース線を接続すること」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。		「感電の危険があること」を示しています。
	「特定しない危険通告」を示しています。		「やけどの危険があること」を示しています。		「火災の危険があること」を示しています。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口へご連絡ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入ください。

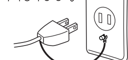
ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

警告

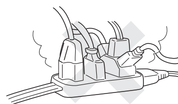
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。
DC 電源やインバーター（DC-AC 変換装置）を接続して使用しないでください。
本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格をお持ちの方にご相談ください。





タコ足配線はしないでください。火災や感電、故障の原因となります。




本製品を電源コードの上にのせないでください。



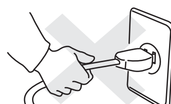
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災や故障の原因となります。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。




本製品内部には高圧電流が流れています。本製品の内部を清掃するときは、電話機コードを外した後、電源コードを抜いてください。また電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。




電源コードを破損するようなことはしないでください。
以下のことをしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- 加工する　• 無理に曲げる
- 高温部に近づける　• 引っ張る
- ねじる　• たばねる
- 重いものをのせる　• 挟み込む
- 金属部にかける
- 折り曲げをくり返す
- 壁に押しつける



国内のみでご使用ください。
海外ではご使用になれません。



アース線を取り付けてください

万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本製品を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。
アース線の接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず電源スイッチを OFF し、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。

■ 取り付けられるところ
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（第３種）が行われているアース端子

■ 絶対に取り付けてはいけないところ
- 電話専用アース線
- 避雷針
- ガス管



雷が激しいときは、感電の恐れがあるため、製品を使用することを避けてください。

本製品の電源プラグに液体、金具を落とさないでください。火災や感電、故障の原因となります。



本製品を清掃するときは、必ず（電源を OFF にし、）コンセントから電源コードを抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。



同梱されている電源コードは、本製品専用です。本製品以外には使用しないでください。
また、同梱されている電源コード以外の電源コードを本製品に使用しないでください。



延長コードを使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。



電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を乾いた布で清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にほこりが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。



⚠ 注 意

故障の原因となります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。また、本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。
緊急時に容易にアクセスできるように本製品はコンセントの近くに設置してください。



いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。



! お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
コピー機などの高電圧機器や携帯電話の充電器と同じ電源は避けてください。ノイズが発生したり、本製品の操作に不具合を生ずることがあります。



このような場所に置かないで

⚠ 警 告

以下の場所には設置しないでください。火災や感電、故障や変形の原因となります。

温度の高いところ
直射日光のあたるところ、急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所には設置しないでください。漏電による感電火災や故障の原因となります。
本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80%
（結露なし）

◎エアコン、換気口などの近く
◎ホコリ、鉄粉の多い場所
◎じゅうたんやカーペットの上



水のかかる場所や湿度の高い場所
台所、ふろ場や加湿器などのそばに設置しないでください。



本製品の上に次のような物を置かないでください。これらが本製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電、故障の原因となります。製品内部に入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。

- ネックレス、ブレスレットなどの金属物
- コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器



火気や熱器具、揮発性可燃物、アルコール、シンナーなどの近くには設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



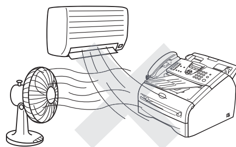
⚠ 注 意

故障や変形、やけど、けがの原因となります。

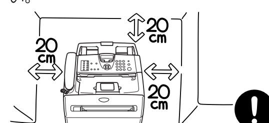
換気の悪い場所
換気の悪い場所で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり快適な環境が保てない原因となります。
印刷動作中には化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分に行ってください。
また、本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。



風が直接当たる場所
扇風機、クーラー、換気口など



壁の近辺
本製品を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。



油飛びや湯気の当たる場所
調理台などのそば



不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になることがあります。



! お願い

故障や変形の原因となります。

いちじるしく低温な場所には設置しないでください。
（製氷倉庫など）

磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

もしもこんなときには

⚠ 警 告

下記の状況でそのまま使用すると火災や感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、異臭がしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



本製品を落としたり、破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。



内部に水が入ったとき
本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。
万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。
また、製品内部にクリップやホチキスの針などの金属片を落とさないでください。これらが製品内部の部品に接触すると、火災や感電の原因となります。万一、これらが製品内部に入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。



内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。



電源プラグや電源コード差込口に水などの液体がかかったときは、電源コードをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にご相談ください。



その他のご注意

警 告

故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

分解や改造はしないでください。
修理などはお客様相談窓口にご相談ください。火災、感電の原因となります。
法律で罰せられることがあります。






火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。





本製品に水や薬品などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。



本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。
火災・感電の原因となります。

可燃性スプレーの例
- ほこり除去スプレー
- 殺虫スプレー
- アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- アルコールなどの有機溶剤や液体






本製品および接続されているケーブル類に有機溶剤（ベンジン・シンナー・除光液・芳香剤など）を付着させないでください。
変形・溶解して、感電や火災の危険性があります。





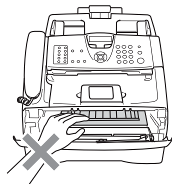
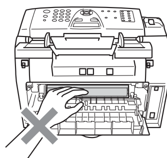
本製品を梱包していたビニール袋などは、子供の手の届かないところに保管してください。誤ってかぶると窒息のおそれがあります。

心臓ペースメーカーをお使いの方は、異常を感じたときは本製品から離れてください。

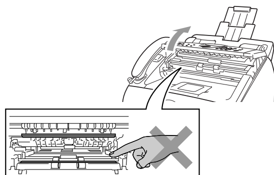
⚠ 注 意

故障や変形、やけど、けがの原因となります。

本製品を使用した直後は、内部がたいへん熱くなっています。
フロントカバーやバックカバーを開けるときは、グレーの部分には絶対に触らないでください。やけどのおそれがあります。


図に示すところに指や手などをはさまないようにしてください。



本製品に付いている乾燥剤は、お子様が誤って食べないようにご注意ください。

- 乾燥剤を飲み込んでしまった場合
  口の中をよくすすぎ、大量の水を飲んで薄めてください。
  すみやかに医師の診察を受けてください。
- 乾燥剤が目に入ってしまった場合
  直ちに流水でよく洗ってください。
  刺激や痛みが残るようであれば､医師の診察を受けてください。



長期間不在にするときは、安全のためにも電源コードをコンセントから抜いてください。



本製品の上に乗ったり、強く押さえたりしないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。



! お願い

故障や変形の原因となります。

落下、衝撃を与えないでください。



動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



本製品の前方には物を置かないでください。
記録紙の排出の妨げになります。



本製品の上に物を置かないでください。



指定以外の部品は使用しないでください。



電話会社の支店･営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。最寄りの電話会社の支店、営業所へご相談ください。

海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

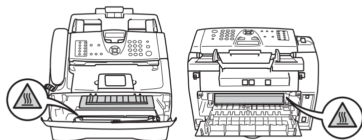
本製品に貼られている操作や製品番号が記載されたラベル類は、はがさないでください。



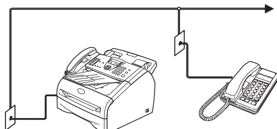
梱包されている部品は必ず取り付けてください。



本製品の内部に貼られているラベルは、はがさないでください。



ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
１つの電話回線にブランチ接続（並列接続）すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。



取扱説明書の手順通りに操作しても本製品が正常に動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のため設置場所を変えるなどして互いに干渉が起きないようにしてください。



電波障害時の対処
本製品の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- 本製品をテレビから遠ざける。
- 本製品またはテレビなどの向きを変える。
- 本製品をコードレス電話の親機から遠ざける。



停電がおきたときは

! お願い

●次のデータはバッテリで保持するメモリに保存しており、停電後4 日間保持されます。
- 送信メモリ文書
- 通信管理レポート
- 受信メモリ文書

●次のデータは不揮発性メモリに保存していますので停電しても保持されます。
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 各種登録・設定の内容

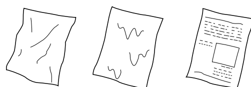
停電中は使用できません。
本製品はAC 電源を使用しているため、停電時は使用できなくなります。

停電復旧時について
４日間以上停電が続いた場合は、日付と時刻などの再設定をしてください。

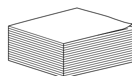
記録紙について

! お願い

使用する記録紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙、広告紙などは使用しないでください。




保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。



トナーについて

警告

ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。



こぼれたトナーはほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。
掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。



注意

トナーカートリッジを無理に開けないでください。
トナーの粉末が漏れ出すおそれがあります。

トナーの粉末が漏れ出した場合には、トナーの粉末の吸引および皮膚への接触は避けてください。

トナーカートリッジは小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。
万が一、お子様がトナーの粉末を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

トナーの粉末に接触した場合の対処

●衣服や皮膚に付着した場合
石けんを使って水でよく洗い流してください。

●吸引した場合
新鮮な空気があるところへ移動し、大量の水でうがいをしてください。せきなどの症状があるときは、医師の診察を受けてください。

●飲み込んだ場合
口の中をよくすすぎ、大量の水を飲んで薄めてください。すみやかに医師の診察を受けてください。

●目に入った場合
直ちに流水でよく洗ってください。
刺激や痛みが残るようであれば、医師の診察を受けてください。

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMから、サポートサイトなどの案内を表示させることができます。

Windows®の場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする

「トップメニュー」が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピューター（コンピューター）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「サービスとサポート」をクリックする

3 見たい項目をクリックする



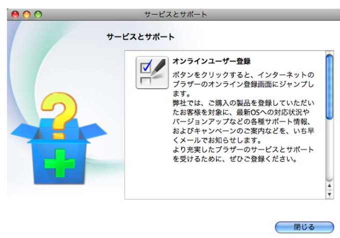
- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト
  （ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintoshの場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットする

2 「サービスとサポート」をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする



- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポート情報
  （ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒ XXX ページ 「XXX」	参照先、または参照する他の取扱説明書を記載しています。（XXX はページ、参照先） ■冊子（同梱） • かんたん設置ガイド • ユーザーズガイド ■ CD-ROM（同梱） • ユーザーズガイド パソコン活用編 • ユーザーズガイド ネットワーク操作編
「XXX」	コンピューターの画面や液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。（XXX は項目名や入力文字）

商標について

Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。
Windows® XP Professional x64 の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Server® 2008 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating systemです。
Windows Vista®の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Windows® 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OS、Safariは、Apple Inc.の登録商標です。
Intel、Intel Core、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。
Adobe、Acrobat、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
UNIXは、The Open Groupの米国ならびにその他の国における登録商標です。
ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

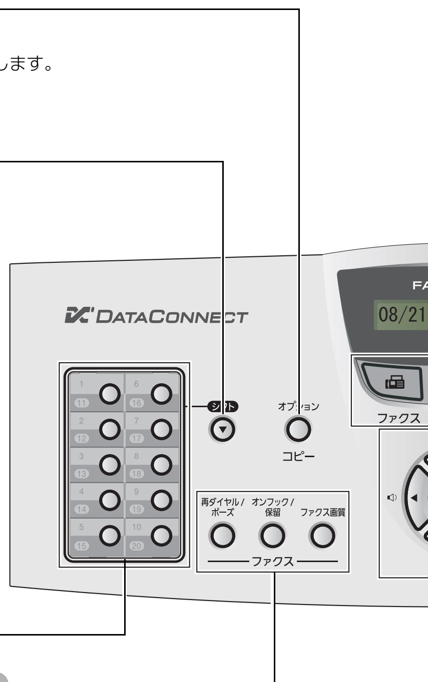
1章

ご使用の前に

《かならずお読みください》

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき



コピー機能ボタン

● オプションボタン
コピーの設定を一時的に変更するときに押します。
⇒122ページ「一時的に設定する」

シフトボタン

ワンタッチダイヤルの11～20を登録またはダイヤルするとき、このボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。
⇒76ページ「ワンタッチダイヤルを使用する」

ファクス機能ボタン

● 再ダイヤル/ポーズボタン
・最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。
⇒78ページ「同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕」
・ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

● オンフック/保留ボタン
・ファクスを手動送信するときに押します。
⇒75ページ「ファクスを手動で送信する」
・通話中に押すと、通話を保留にして相手にメロディが流れます。

● ファクス画質ボタン
ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。
⇒80ページ「画質を設定する」

液晶ディスプレイ

現在の日時や操作方法を案内するメッセージが表示されます。
⇒33ページ「液晶ディスプレイの特徴」

モード選択ボタン

ファクス／コピーの各モードに切り替えます。
⇒42ページ「モードについて」

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

レポートボタン

通信管理レポートや、リストなどを印刷するときに押します。
⇒114ページ「レポート・リストの印刷」

停止/終了ボタン

ファクス送信または操作を中止するときや
機能設定を終了するときに押します。

スタートボタン

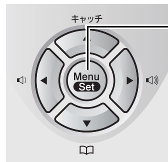
ファクスの送受信やコピーを開始するときなどに押します。

ナビゲーションキー

⇒34ページ「ナビゲーションキーを使った基本操作」

キャッチ

キャッチホンを使うときに押します。



機能を設定するときや設定した機能を
確定（決定）するときに押します。

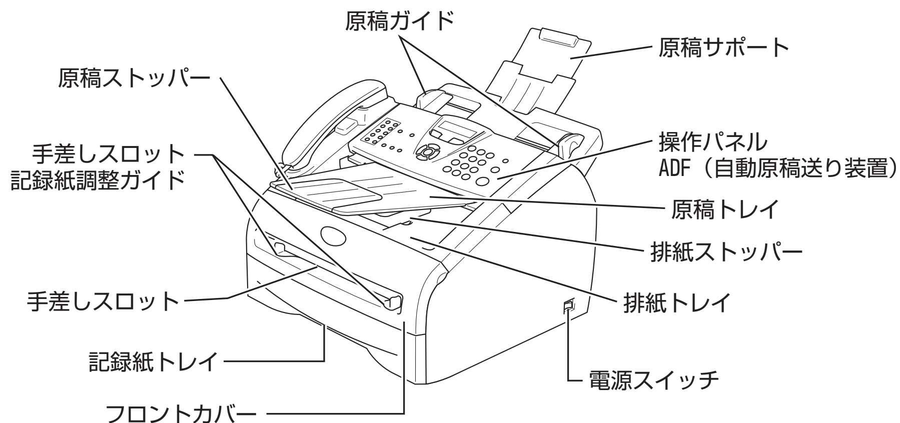
- 前のレベルメニューに移動します。
- 音量を小さくします。

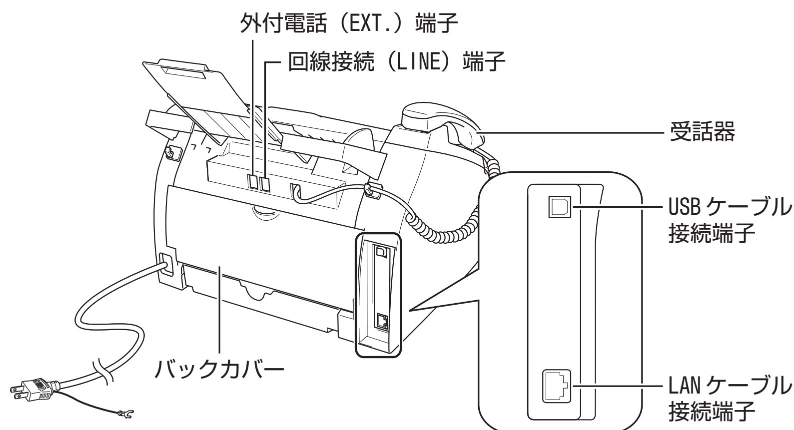
- 次のレベルメニューに移動します。
- 音量を大きくします。

電話帳/短縮

電話帳から検索するときに押します。
⇒77ページ「電話帳から送信する」

各部の名称


原稿ガイド
原稿サポート
原稿ストッパー
手差しスロット
記録紙調整ガイド
操作パネル
ADF（自動原稿送り装置）
原稿トレイ
排紙ストッパー
手差しスロット
排紙トレイ
記録紙トレイ
電源スイッチ
フロントカバー

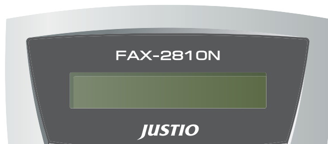

外付電話（EXT.）端子
回線接続（LINE）端子
受話器
USB ケーブル
接続端子
バックカバー
LAN ケーブル
接続端子

《かならずお読みください》

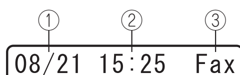
液晶ディスプレイの特徴

液晶ディスプレイについて

本製品は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイに現在の設定内容や、操作方法などを案内するメッセージが表示されます。

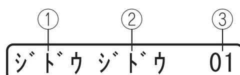


ファクスモードの標準画面



①：月/日が表示されます。
②：現在の時刻が表示されます。
③：設定したファクスの受信モードが表示されます。

コピーモードの標準画面



①：拡縮率が表示されます。
②：コピー画質が表示されます。
③：コピー枚数が表示されます。

案内メッセージ(エラーメッセージ例)



①：エラー内容などが表示されます。
エラーの対処方法などが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔日本語・English〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。
お買い上げ時の設定は、日本語表示です。

英語表示に切り替える

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

1 Menu/Set 0 ﾜﾞﾟ 0 ﾜﾞﾟ を押す
(Press Menu/Set 0 ﾜﾞﾟ 0 ﾜﾞﾟ.)

2 ▲▼ で「English」を選択する
(Press ▲▼ to select “English”.)

3 Menu/Set を押す
(Press Menu/Set.)

4 停止/終了 を押す
(Press 停止/終了 to exit.)

日本語表示に切り替える

1 Menu/Set 0 ﾜﾞﾟ 0 ﾜﾞﾟ を押す

2 ▲▼ で「Japan」を選択する

3 Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

《かならずお読みください》

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。
ナビゲーションキーを使用することによって、設定したい項目を選択しながら設定することもできます。



ナビゲーションキー	キーの役割
Menu Set	• メインメニューを表示する • 次のメニューレベルに移る • 選択項目を確定（決定）する • 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。
	• メニュー内の項目を表示する
	• 前のメニューレベルに戻る • 音量を小さくする
	• 次のメニューレベルに進む • 音量を大きくする
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
停止/終了	• 操作を中止するときや、設定を終了する

ダイヤルボタンを使った基本操作

Menu Set を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本製品に対する各種の設定ができます。

補足

● 設定を途中で終了するときは、停止/終了 を押してください。

● 機能の番号については、⇒170ページ「機能一覧」を参照してください。

《かならずお読みください》

記録紙について

推奨紙

記録紙の種類※	記録紙名
普通紙 普通紙（厚め）	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）　C2（上質プリンター用紙） （株）リコー　マイペーパー A4T目
再生紙	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）　G70
ラベル紙	エーワンレーザーラベル28362

※ 推奨紙をご使用ください。記録紙の種類によっては、うまく印刷できない場合があります。
インクジェット専用紙はご使用にならないでください。本製品の故障の原因となります。

セットできる記録紙の種類

記録紙の種類	記録紙トレイ	手差しスロット
普通紙（75g/m^2～105g/m^2）	○	○
厚紙（105g/m^2～161g/m^2）	×	○
薄紙（60g/m^2～75g/m^2）	○	○
再生紙	○	○
ラベル紙	×	○
封筒	×	○
OHPフィルム	○（10枚）	○

補足

- 本製品は再生紙を使用できます。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- はがきは印刷すると大きく反ってしまう（カール）ため、ご使用できません。
- 宛名ラベル、OHPフィルムなどは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- OHP フィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように 1 枚ずつ抜き取ってください。

セットできる記録紙サイズと枚数

下記の記録紙が使用できますが、受信したファクスはA4サイズで印刷してください。

	記録紙トレイ	手差しスロット
記録紙サイズ	A4、USレター、B5（JIS)、A5※、A6	幅69.9～215.9mm× 長さ116～406.4mm
枚数	250枚（80g/m^2)	1枚

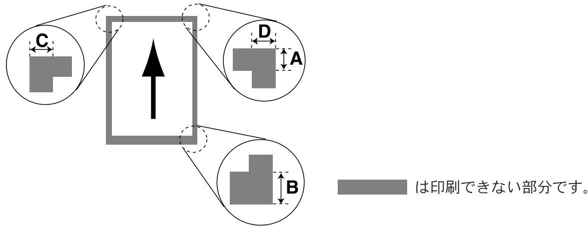
※ A5横は手差しスロットをご使用ください。⇒39ページ「手差しスロットから印刷する」を参照してください。

補足

特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



（単位：mm）

サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	3.0	3.0	1.0	1.0
	コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2

補足

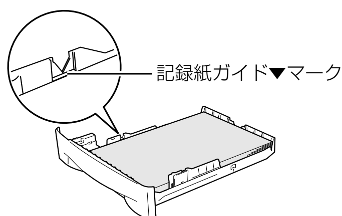
印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタードライバーによっても値が変わってきます。

注意

- ■一度、カラーコピーをした記録紙、またはカラーレーザープリンターで印刷した記録紙は、絶対に使用しないでください。
- ■インクジェット紙は絶対に使用しないでください。
- ■一部をすでに使用した宛名ラベルの印刷は避けてください。故障の原因になります。
- ■ビニールコーティングされた記録紙は絶対に使用しないでください。
- ■極端に滑らかな記録紙は使用しないでください。
- ■ルーズリーフなど穴の開いた記録紙は絶対に使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- ■記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。



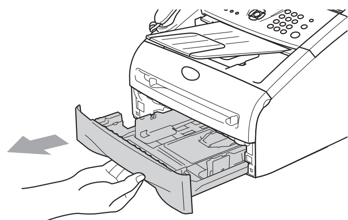
- ■記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。



- ■排紙トレイにスタックできる枚数は普通紙（80g/m^{2}紙）の場合、約100枚です。

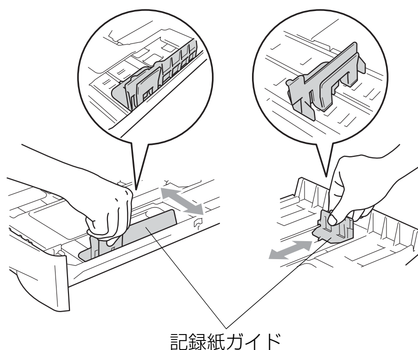
記録紙トレイに記録紙をセットする

1　記録紙トレイを完全に引き出す

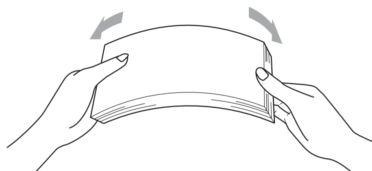


2　記録紙ガイドをつまみながらスライドする

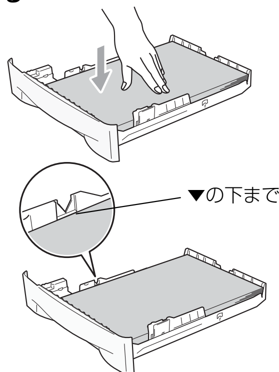
ご使用になる記録紙のサイズに合わせます。



3　紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



4　印字面を下にして記録紙トレイに入れる



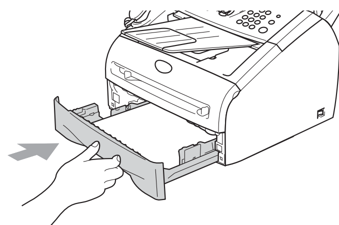
注意

記録紙は少しずつ入れてください。一度にたくさん入れると紙詰まりや給紙ミスの原因になります。

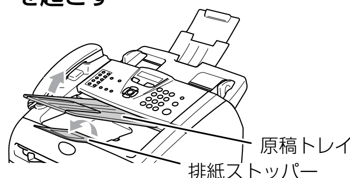
補足

- A4(80g/㎡の普通紙)で約250枚までセットできます。
- 記録紙がカセットの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 記録紙ガイドのツメがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

5　記録紙トレイを本製品に戻す



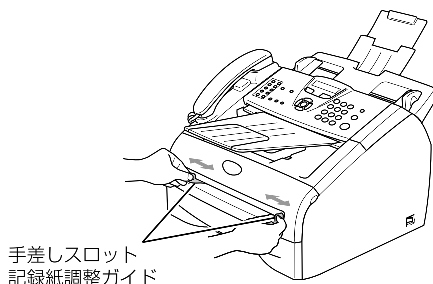
6　原稿トレイを持ち上げ、排紙ストッパーを起こす



手差しスロットから印刷する

ラベル紙や厚紙などは手差しスロットから印刷します。

1　手差しスロット記録紙調整ガイドを記録紙の幅に合わせる



2　記録紙を両手で持って手差しスロットに差し込む

用紙の先端をつきあたるまで入れ、用紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。自動的に紙が引き込まれたら、記録紙から手を離します。



補足

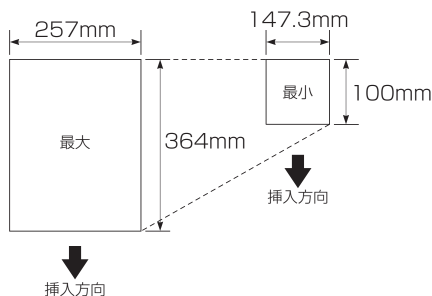
- 印刷する面を上向きにしてセットしてください。
- 手差しスロットに差し込むときは、記録紙をゆっくりと差し込んでください。
- 記録紙は、まっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと紙づまりを起こしたり、斜めに印刷される恐れがあります。
- 記録紙は1枚ずつ差し込んでください。

《かならずお読みください》

原稿について

原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機などでセットできる原稿サイズにコピーしてからセットしてください。

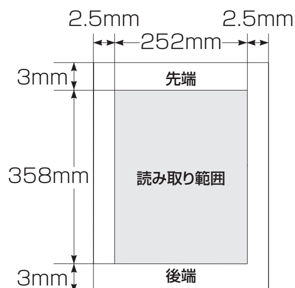


坪量　：64g/m^2～90g/m^2

原稿の読み取り範囲

B4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

〈ファクス・コピー〉



補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。⇒36ページ「記録紙の印刷可能範囲について」を参照してください。

注意

ファクスについて

■原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。

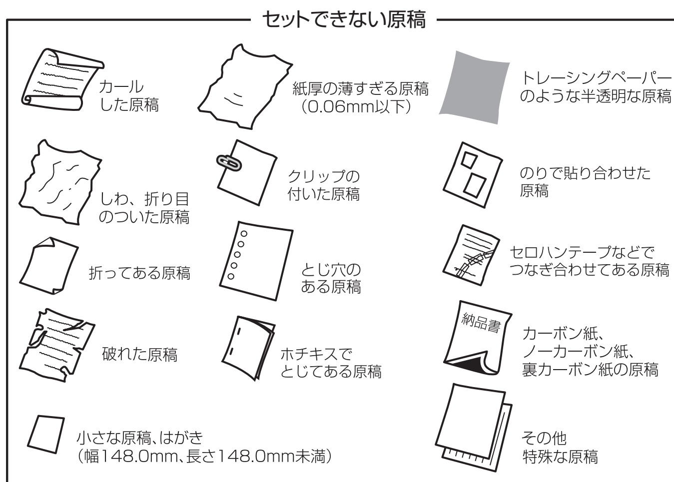
■インクやのりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

■送信するときは、原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。

■異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。

■ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

■以下のような原稿は、複写機でコピーしてから送信してください。キャリアシートを使って原稿をセットすることもできますが、１枚ずつ送信してください。



コピーについて

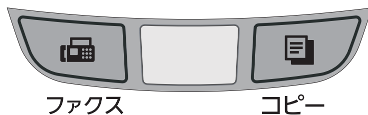
法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

《かならずお読みください》

モードについて

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピーの各モードを選択することができます。



現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1 Menu/Set 1 1 を押す

1.ﾓｰﾄﾞ ﾀｲﾏｰ

2 ▲▼で時間を選択する

「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 プン」「2 フン」「5 フン」「Off」の中から選択します。

ﾓｰﾄﾞ:30 ﾋﾞｮｳ

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時、モードタイマーは「30 ビョウ」に設定されています。

《かならずお読みください》

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

電話機コードと電源コードを接続すると、本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

プ゚ッシュ カイセン デ゛ス	：プッシュ回線に設定されたとき
20PPS カイセン デ゛ス	：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

● 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、次のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

セッテイ　デ゛キマセンデ゛シタ　デ゛ンワキコード゛ヲ　セツゾ゛クシテクダ゛サイ.
マタハ　カイセンニモンダ゛イアリ. カイセンギ゛ョウシャニ　トイアワセクダ゛サイ

接続が正しい状態でも表示が消えないときは、回線上の他の機器の接続や電源の状態を確認してください。
それでも表示が消えないときは、「受話器を上げた時のツー音（ダイヤルトーン）が聞こえない」とご利用の電話会社にお問い合わせください。
正しく接続しないまま 5 分以上放置すると、回線種別は「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」に設定されます。

● 次のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。

セッテイ　デ゛キマセンデ゛シタ　カイセンシュベ゛ツ　ヲ　セッテイシテクダ゛サイ

手動回線種別の設定については、⇒ 44 ページ「手動で回線種別を設定する」を参照してください。

● 電話機コードを接続せずにコピーなどの機能だけを利用される場合でも、「ｾｯﾃｲ　ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ　ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ　ｦ　ｾｯﾃｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 Menu/Set、0（ワ゛゜）、4 GHI（タ）を押す

4.カイセンシュベ゛ツ セッテイ

2 ▲▼で回線種別を選択する

回線種別の表示を以下に示します。

- プッシュ回線のとき　：プッシュ　カイセン
- ダイヤル回線10PPSのとき　：ダイヤル　10PPS
- ダイヤル回線20PPSのとき　：ダイヤル　20PPS
- 自動設定を行うとき　：ジドウ　セッテイ

カイセン:プ゜ッシュ カイセン

3 Menu/Setを押す

ウケツケマシタ

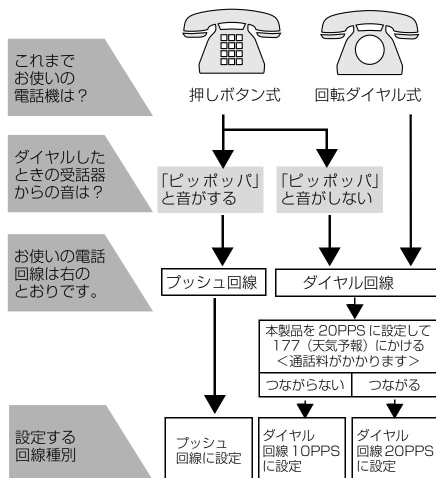
4 停止/終了を押す

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「プッシュ　カイセン」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルーター、IPフォンアダプターなど）に本製品を接続する場合
  本製品の回線種別設定は、NTT と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- いったん、自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

ご使用前の設定をする

日付･時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がしてあれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1 Menu/Set 0 2 を押す

2.トケイ セット

2 年号（西暦の下２桁）を入力して Menu/Set を押す

例：2011年の場合は「11」

ネン:2011

3 月を2桁で入力して Menu/Set を押す

例：8月の場合は「08」

ツキ:08

4 日付を2桁で入力して Menu/Set を押す

例：21日の場合は「21」

ヒヅケ:21

5 時刻を入力する

例：午後3時25分の場合は「1525」

ジコク:15:25

6 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

7 停止/終了 を押す

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

  08/21 15:25 Fax

- 間違って入力した場合は、停止/終了 を押し、再度初めから入力し直してください。
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。
- 4日間以上停電した場合は日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 Menu/Set 0 3 を押す

3.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ

2 ファクス番号を入力して Menu/Set を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX

3 電話番号を入力して Menu/Set を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

ﾃﾞﾝﾜ:03XXXXXXXX

4 名前を入力する

20文字まで登録できます。

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

5 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

6 停止/終了 を押す

補足

- ファクス番号、電話番号には数字しか入力できません。
- 入力を間違えたときは、◀ ▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し、停止/終了 を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
  途中の文字を間違えたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。
- 停止/終了 を押すと、カーソル位置の文字から最後の文字まで削除します。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については、⇒82ページ「送付書を付けて送信する」を参照してください。

発信元登録を消去する

1 Menu/Set 0 3 を押す

3.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ

2 1 で「ﾍﾝｺｳ」を選択する

ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

3 停止/終了 を押して、登録されている文字をすべて消去する

ﾌｧｸｽ:

4 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

5 停止/終了 を押す

《かならずお読みください》

受信モードについて

受信モードの種類

本製品の受信モードには以下の種類があります。

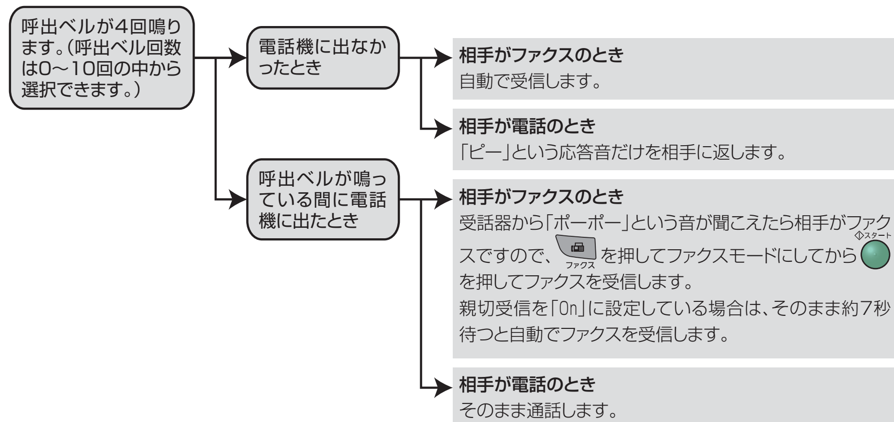
■お使いの電話機を本製品と接続しない場合
- ファクス専用モード
- 自動切替モード

■お使いの電話機を本製品と接続する場合
- 自動切替モード
- 外付留守電モード
- 電話モード

お使いの電話機を本製品と接続しない場合

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。



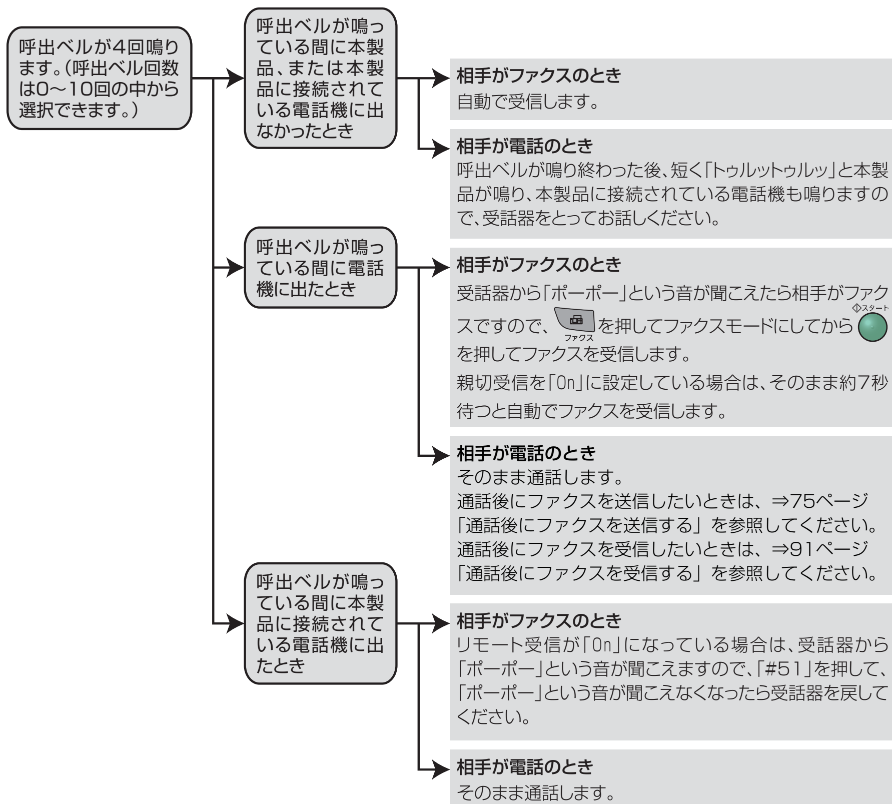
補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、 ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたは、⇒53ページ「呼出回数を設定する」を参照してください。

お使いの電話機を本製品と接続する場合

自動切替モード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品、または本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。



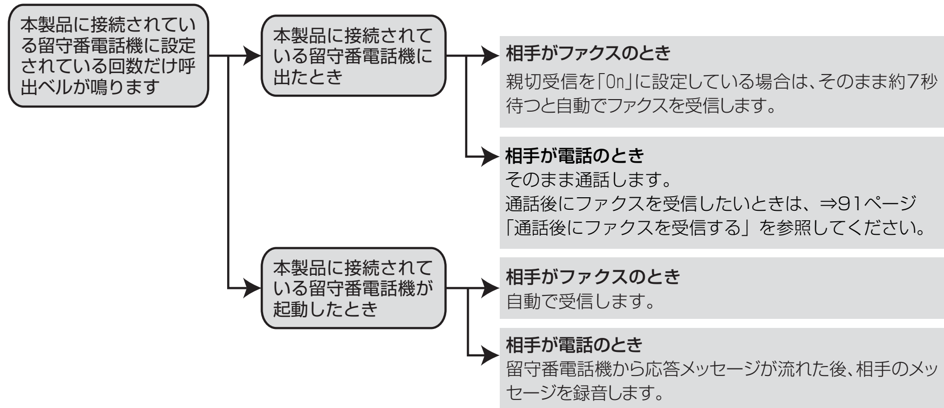
補足

- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて スタート を押してください。※
  親切受信が「On」に設定されているときは、原稿をセットした状態で受信できます。
- 呼出回数の設定のしかたは、⇒53ページ「呼出回数を設定する」を参照してください。
- 自動切替モードでは、本製品が着信すると電話に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 親切受信が「On」に設定されていても、回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらない場合があります。そのときは スタート を押してから受話器を戻してください。※
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して スタート を押してください。※
- 呼出回数を７回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。

※ 本製品の操作時のみ。

外付留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



注意

■本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

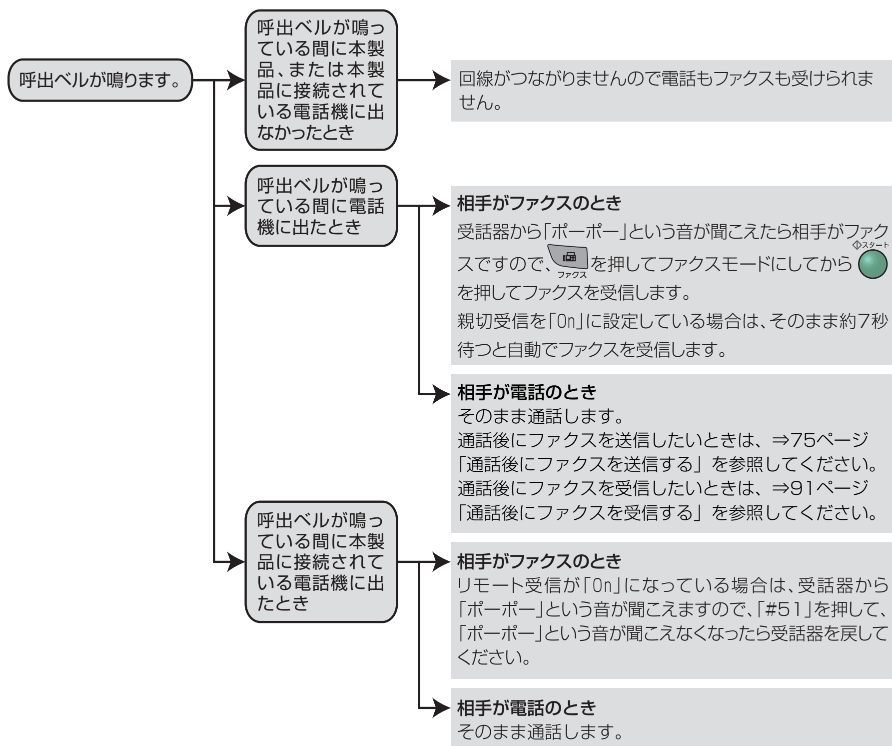
- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。
- リモート受信が「On」になっている場合は、本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。受話器から「ポーポー」という音が聞こえますので、「#51」を押して、「ポーポー」という音が聞こえなくなったら受話器を置いてください。

電話モード

本製品に接続されている電話に出た後、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



補足

ファクス受信について

- リモート受信が「On」になっている場合は、本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。受話器から「ポーポー」という音が聞こえますので、「#51」を押して、「ポーポー」という音が聞こえなくなったら受話器を置いてください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いてスタートを押してください。※1

  親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認してスタートを押してください。※1

※1 本製品の操作時のみ。

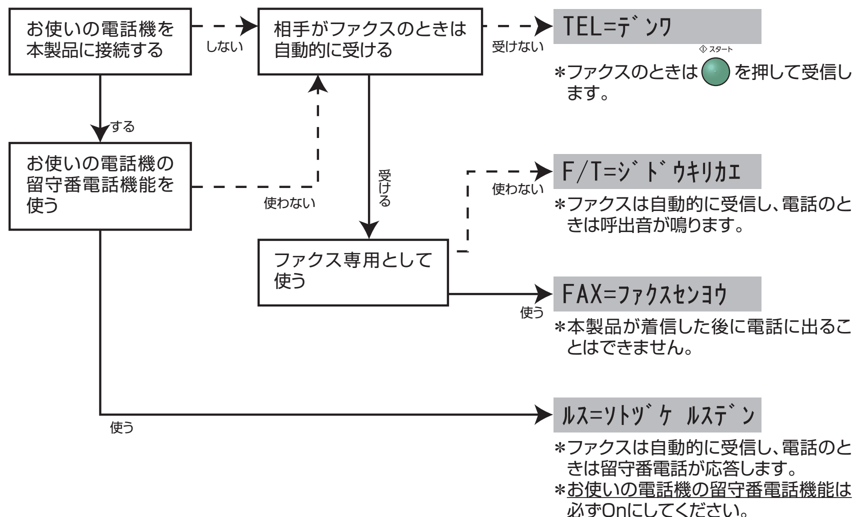
キャッチホン※2契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン／キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

※2「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを選ぶ

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選択します。



受信モードを設定する

1 Menu/Set 0（ワ゜） 1（ア） **を押す**

1.ジュシン モード

2 でモードを選択する

「FAX=ファクスセンヨウ」「F/T=ジドウキリカエ」「ルス=ソトヅケ　ルスデン」「TEL=デンワ」の中から選択します。

FAX=ファクスセンヨウ

3 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「FAX=ファクスセンヨウ」モードに設定されています。
- 「ルス=ソトヅケ　ルスデン」モードを設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 Menu/Set 2(カ) 1(ア) 1(ア) を押す

1.ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ

2 ▲▼で呼出回数を選択する

0～10回から選択します。

ｶｲｽｳ:04

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は4回に設定されています。
- 呼出回数は、0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、本製品に接続されている電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには、⇒ 60 ページ「着信音量を設定する」を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 Menu/Set 2(カ) 1(ア) 2(カ) を押す

2.ｻｲ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ

2 ▲▼で再呼出回数を選択する

「08」「15」「20」の中から選択します。

ｶｲｽｳ:08

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は8回に設定されています。
- 本製品は、設定した回数だけ呼出ベルを鳴らしたあと、自動的に電話を切ります。

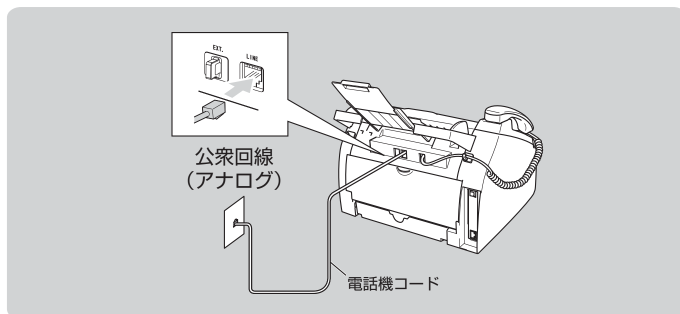
《かならずお読みください》

本製品の接続イメージ

本製品ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。
本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

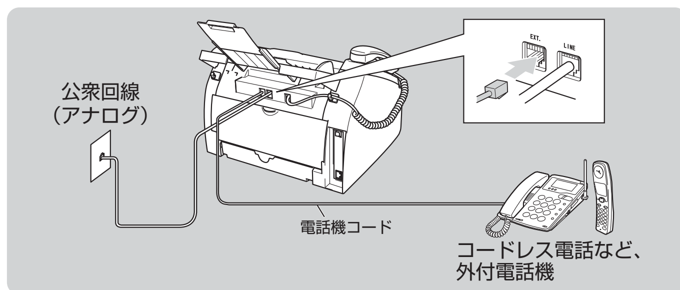
公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）

受信モードをファクス専用に設定します。



公衆回線に接続する場合（本製品に電話機を接続する場合）

本製品に電話機を接続し、電話番号1つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切替えに設定することをお勧めします。

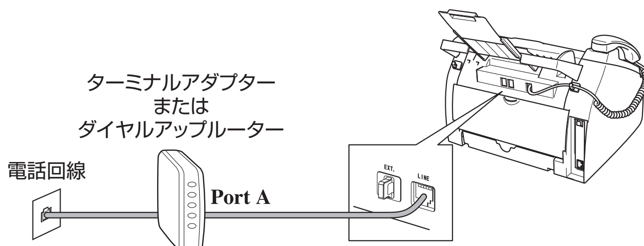


補足

- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品または本製品に接続されている電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、最寄りのNTT窓口（116番）にご相談ください。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を本製品に接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹ ﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」に設定してください。⇒67ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」を参照してください。
- 外付電話端子（EXT.）に接続できる端末（電話機など）台数は1台です。

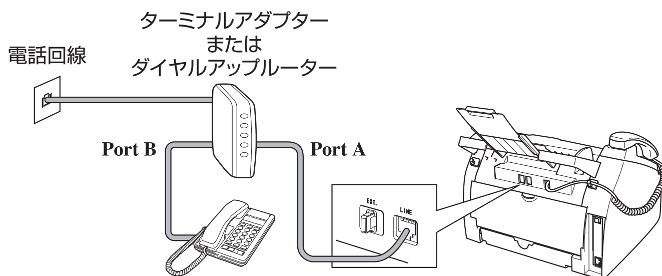
ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）

電話とファクスの同時使用はできません。



ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）

2回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードをファクス専用に設定します。

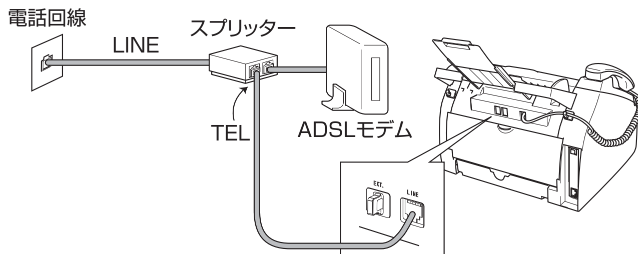


補足

- 各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - 電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプターの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が1つの場合で、Port Aに電話機を接続しPort Bに本製品を接続した場合、Port A/B両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port AからBへ内線転送してください。
  - 電話番号が 2 つの場合（ダイヤルインサービスまたは i・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプターの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
  - 本製品の回線種別は「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」に設定してください。お買い上げ時の設定は、「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」になっています。電話回線の設定の詳細については、⇒43ページ「回線種別を設定する」を参照してください。
- ターミナルアダプター側は本製品を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本製品が使えないときは、ターミナルアダプターの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧いただくか、販売メーカーにお問い合わせください。
- ファクスの送受信がうまくいかない場合は、⇒70ページ「特別回線対応を設定する」を参照してください。

ADSL環境に接続する場合

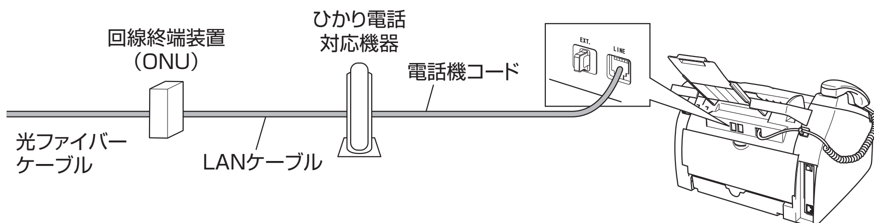
受信モードを自動切替えに設定します。



補足

- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。
  ⇒20ページ「その他のご注意」を参照してください。
- ADSL環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッターが影響している可能性があります。スプリッターを交換すると改善する場合があります。
- IPフォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。
  IP網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変えてください。
  ⇒71ページ「安心通信モードを設定する」を参照してください。

ひかり電話に接続する場合



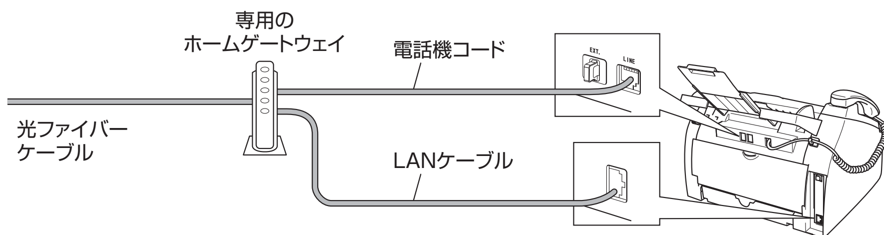
補足

- ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

※NTT以外の電話会社をご利用の場合は、同様のサービスでも名称が異なることがあります。

次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合

次世代ネットワーク（NGN）とは、電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。この次世代ネットワーク（NGN）を通じてのみ、IPファクスが利用できます。

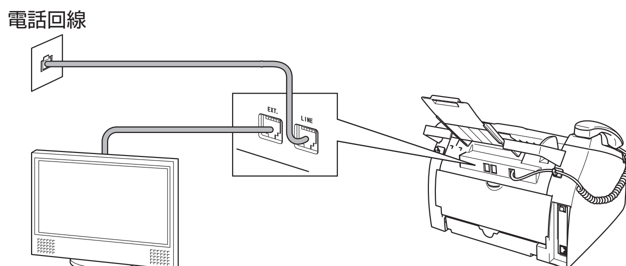


補足

- 次世代ネットワーク（NGN）に接続するには、NTTのフレッツ 光ネクストに契約する必要があり、専用のホームゲートウェイを設置する必要があります。
- 次世代ネットワーク（NGN）についてのご質問は、NTTにお問い合わせください。
- ホームゲートウェイに設定するデータは、NTTから送付される資料をご覧ください。
- ホームゲートウェイの接続方法や不具合は、NTTにお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

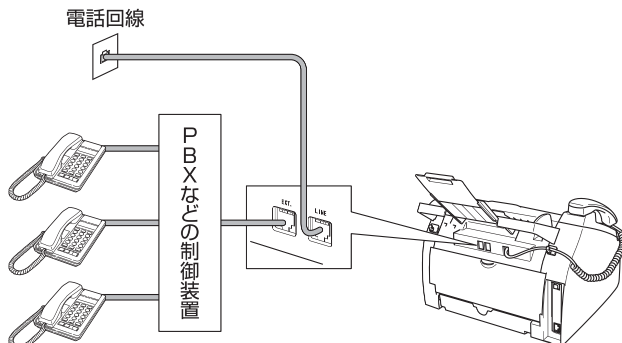
デジタルテレビを接続する場合

受信モードを自動切換えに設定します。デジタルテレビは、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続します。



構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

回線数が1つの場合の例を以下に示します。
受信モードを自動切り替えに設定します。PBXなどの制御装置は、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続します。



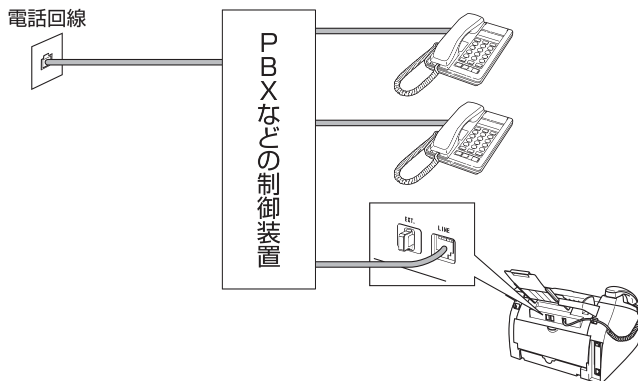
補足

● ビジネスホンとは
電話回線を３本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。

● ホームテレホンとは
電話回線１～２本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本製品を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。
本製品の特別回線の設定を「PBX」にしてください。⇒70ページ「特別回線対応を設定する」を参照してください。



《必要に応じて設定してください》

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。

1 Menu/Set 1 2 を押す

2.ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ

2 ▲▼で記録紙のタイプを選択する

「ﾌﾂｳｼ」「ﾌﾂｳｼ（ｱﾂﾒ）」「ｱﾂｶﾞﾐ」「ﾁｮｳｱﾂｶﾞﾐ」「OHP ﾌｨﾙﾑ」「ｻｲｾｲｼ」の中から選択します。

ｷﾛｸｼ:ﾌﾂｳｼ

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時、記録紙のタイプは「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

記録紙のサイズを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを選択します。

1 Menu/Set 1 3 を押す

3.ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ

2 ▲▼で記録紙のサイズを選択する

「A4」「B5」「A5」「A6」「USﾚﾀｰ」の中から選択します。

ｻｲｽﾞ:A4

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時、記録紙のサイズは「A4」に設定されています。
- 記録紙を「A4」や「USﾚﾀｰ」以外のサイズに設定しているときにファクス受信した場合は、液晶ディスプレイに「ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ﾏﾁｶﾞｲ」のエラーメッセージが表示されて印刷することができません。記録紙トレイにA4サイズの記録紙を入れて、記録紙サイズの設定を「A4」にしてください。

着信音量を設定する

着信ベルの音量を調節します。

1 Menu/Set 1 4 1 を押す

1.チャクシン オンリョウ

2 ▲▼で音量を選択する

「Ｏｆｆ」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ:チュウ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時、ベルの音量は「チュウ」に設定されています。
- ファクス ボタンが緑色に点灯しているときは着信音量を ◀▶ で調整できます。

ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

1 Menu/Set 1 4 2 を押す

2.ボタンカクニン オンリョウ

2 ▲▼で音量を選択する

「Ｏｆｆ」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ:チュウ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時、ボタン確認音量は「チュウ」に設定されています。
- 「Ｏｆｆ」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

1 Menu/Set 1 4 3 を押す

3.スピ゜ーカー オンリョウ

2 で音量を選択する

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ:チュウ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時、スピーカー音量は「チュウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、オンフック/保留 を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときに を押して調節することもできます。

受話音量を設定する

相手の声の大きさを調節します。

1 Menu/Set 1 4 4 を押す

4.ジ゛ュワ オンリョウ

2 で音量を選択する

「ショウ」「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ:ショウ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- 受話器で相手と通話中に を押して調節することもできます。

トナーを節約する〔トナーセツヤクモード〕

トナーを節約したいときは、「トナー　セツヤク　モード」を「On」に設定します。「On」に設定すると印字が薄くなります。

1 Menu/Set 1 5 1 を押す

1.ﾄﾅｰ ｾﾂﾔｸ ﾓｰﾄﾞ

2 ▲▼で「On」を選択する

ﾄﾅｰ ｾﾂﾔｸ:On

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。

1 Menu/Set 1 5 2 を押す

2.ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ

2 ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定する

00～99分まで分単位で設定します。

ｽﾘｰﾌﾟ ｶｲｼ:05ﾌﾝ

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために約10秒～20秒時間がかかります。
- お買い上げ時は「05ﾌﾝ」に設定されています。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見にくいときは、コントラストを調整します。

1 Menu/Set 1 6 を押す

```
6.ガメンノ コントラスト
```

2 でコントラストを選択する

「ウスク」「コク」の中から選択します。

```
コントラスト:コク
```

3 Menu/Set を押す

```
ウケツケマシタ
```

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「コク」に設定されています。

《必要に応じて設定してください》

セキュリティ機能の設定について

パスワードを登録して印刷／ファクス送信／コピー操作を制限したり、設定のロックをすることができます。

操作ロックとは

パスワードによりセキュリティ操作ロックをＯｎに設定すると、印刷／ファクス送信／コピー操作がロックされます。

- ファクス受信　→　送られてきたファクスをメモリに蓄積し、印刷はしません。
- プリンター　→　出力内容をメモリに蓄積し、印刷はしません。

印刷／ファクス送信／コピーする場合は、セキュリティ操作ロックをＯｆｆに設定してください。

パスワードを登録する



パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 Menu/Set 1 7 1 を押す

1. セキュリティソウサロック

2 ４桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

3 パスワードを再度入力する

4 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

5 停止/終了 を押す

パスワードを変更する

1 Menu/Set 1 7 1 を押す

1. セキュリティソウサロック

2 ▲▼を押して「パスワード　セッテイ」を選択して Menu/Set を押す

3 登録した４桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

4 ４桁の変更したい新しいパスワードを入力して Menu/Set を押す

5 新しいパスワードを再度入力する

6 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

7 停止/終了 を押す

操作ロックをOnにする

1 Menu/Set 1 7 1 を押す

1.セキュリティソウサロック

2 ▲▼を押して「セキュリティ セッテイ」を選択して Menu/Set を押す

3 登録した4桁のパスワードを入力する

4 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

操作ロックをOffにする

1 Menu/Set を押す

パスワード:XXXX

ニュウリョク/セットボタン

2 登録した4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「パスワードガ チガイマス」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

設定ロックのしかた

パスワードにより下記の機能の設定変更をロックします。

- 日付／時刻
- 発信元登録
- 電話帳設定（ワンタッチ·短縮·グループダイヤル）
- モードタイマー
- 記録紙タイプ
- 記録紙サイズ
- 音量（着信·ボタン確認·スピーカー·受話）
- 省エネモード（トナー節約·スリープモード）
- 液晶ディスプレイのコントラスト
- セキュリティ（操作ロック·設定ロック）

パスワードを登録する

補足

パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 Menu/Set 1 7 2 を押す

2.セキュリティセッテイロック

2 4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

3 パスワードを再度入力する

4 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

5 停止/終了 を押す

パスワードを変更する

1 Menu/Set 1 7 2 を押す

2.ｾｷｭﾘﾃｨｾｯﾃｲﾛｯｸ

2 ▲▼を押して「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　ｾｯﾃｲ」を選択して Menu/Set を押す

3 登録した4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

4 4桁の変更したい新しいパスワードを入力して Menu/Set を押す

5 新しいパスワードを再度入力する

6 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

7 停止/終了 を押す

設定ロックをOnにする

1 Menu/Set 1 7 2 を押す

2.ｾｷｭﾘﾃｨｾｯﾃｲﾛｯｸ

2 ▲▼を押して「On」を選択して Menu/Set を押す

3 登録した4桁のパスワードを入力する

4 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

5 停止/終了 を押す

設定ロックをOffにする

1 Menu/Set 1 7 2 を押す

2.ｾｷｭﾘﾃｨｾｯﾃｲﾛｯｸ

2 登録した4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

3 もう一度 Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｶﾞ　ﾁｶﾞｲﾏｽ」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

《必要に応じて設定してください》

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本製品では、電話会社（NTT）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。
本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
  電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。）
  操作方法については、⇒104ページ「ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する」を参照してください。

補足

- 本製品はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプターまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
- IP電話を利用されているときは、VoIPアダプター（IP電話対応機器）の設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。⇒20ページ「その他のご注意」を参照してください。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを設定します。

1 Menu/Set 0（ﾜﾞｯ）7（PQRS ﾏ）を押す

7.ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ

2 ▲▼で電話番号の表示方法を選択する

「On」「Off」「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の中から選択します。

- 「On」を選択した場合、本製品の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 「Off」を選択した場合、相手の電話番号または名前が表示されません。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」を選択した場合、本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

On

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す



「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」で使用する場合に本製品を自動切替モードに設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。



- お買い上げ時は、「Ｏｆｆ」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、NTT への契約が必要です。契約していない場合は「Ｏｆｆ」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「Ｏｎ」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「Ｏｆｆ」にしてください。
- 着信履歴リストを表示したり着信履歴リストを印刷するには、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「Ｏｎ」にする必要があります。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「Ｏｎ」にしてください。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」の場合、着信履歴は本製品に残りません。

《必要に応じて設定してください》

IPファクスの設定をする

次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使用する場合、データコネクトの設定を変更する必要があります。

IPファクスを設定する

1 Menu/Set 2(カ) 9(ラ) 1(ア) を押す

1.IPファクス

2 ▲▼で設定を選択する

「センヨウ」「ユウセン」「OFF」の中から選択します。

OFF

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 「ユウセン」に設定すると、相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- 「センヨウ」に設定すると、ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信およびポーリング送信の場合は、通常のファクス送信になります。

通信速度を設定する

1 Menu/Set 2(カ) 9(ラ) 2(カ) を押す

2.ツウシンソクド

2 ▲▼で設定を選択する

「ジドウ」「ヒョウジュン」「コウソク」の中から選択します。

ジドウ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は、「ジドウ」に設定されています。
- 本製品の通信速度は「ヒョウジュン」: 64kbps、「コウソク」: 512kbpsに対応しています。各利用料金については、NTTのホームページでご確認ください。

データコネクトとは

お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定した帯域確保型データ通信を実現するサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトでIPファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

注意

データコネクトは、NTT のフレッツ 光ネクストに契約している場合のみ利用できます。

補足

- IPファクスを使用する場合、TCP/IP設定のIP取得方法を「Auto」または「DHCP」に設定してください。⇒176 ページ「ネットワーク機能」を参照してください。
- ウェブブラウザーで設定することもできます。⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- データコネクトの設定は、設定内容リストで確認することができます。⇒115 ページ「設定内容リストを印刷する」を参照してください。
- 「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT東日本／NTT西日本のサービスです。

《必要に応じて設定してください》

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1 Menu/Set 0 6 を押す

6.トクベツカイセン タイオウ

2 ▲▼で回線を選択する

「イッパン」「ISDN」「PBX」の中から選択します。

カイセン:イッパン

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は、「イッパン」に設定されています。
- 「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「On」にするときは、特別回線対応の設定を「イッパン」にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、ダイヤルトーンを「ケンチ スル」に設定してください。

注意

本製品をPBXやIP電話アダプターに接続している環境で「ケンチ スル」に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は「ケンチ シナイ」のままお使いください。

1 Menu/Set 0 5 を押す

5.ダイヤルトーン セッテイ

2 ▲▼で設定を選択する

「ケンチ スル」「ケンチ シナイ」の中から選択します。

3 Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「ケンチ シナイ」に設定されています。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「コウソク」→「ヒョウジュン」→「アンシン」の順で送受信時間は遅くなりますが、「アンシン」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。

1 Menu/Set 2ABC 8TUV **を押す**

8.アンシン ツウシン モード

2 ▲▼ **で回線を選択する**

「コウソク」「ヒョウジュン」「アンシン」の中から選択します。

ツウシン:コウソク

3 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は、「コウソク」に設定されています。
- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」(ゼロを4つ)を付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご契約になっている会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

  本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

2章

ファクス

《ファクス送信》

ファクスを送る

フレッツ 光ネクストをご契約の方は、IPファクスを使って送信することができます。IPファクスの設定方法は、⇒69ページ「IPファクスの設定をする」を参照してください。ただし、以下の2つの条件を満たす必要があります。
- 送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続している ⇒57ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」
- TCP/IP設定のIP取得方法が、「Auto」または「DHCP」に設定されている ⇒176ページ「ネットワーク機能」

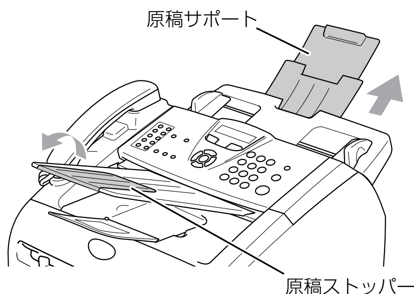
ファクスを自動で送信する

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。

1 ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す

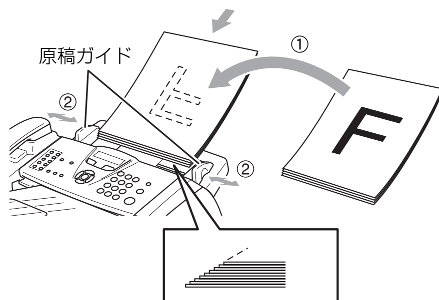


2 原稿サポートを最後まで引き出して、原稿ストッパーを起こす



3 原稿の送信する面を下にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に20枚までセットできます。



4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）

5 相手先のファクス番号を入力する

6 スタート を押す

補足

- 送信を途中で止めたいときは 停止/終了 を押し、1 を押してください。
- ダイヤルのしかたは、⇒76ページ「ダイヤルのしかた」を参照してください。
- 「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力して消去してください。⇒108ページ「メモリに受信したファクスを印刷する」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数は原稿の内容に影響されます。
- 自動送信の場合、スタート を押したあとに受話器を取ったり、オンフックボタンを押したりしないでください。

注意

原稿を複数枚セットしたときは、キャリアシートはお使いになれません。キャリアシートをお使いになるときは１枚ずつ送信してください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、相手先の受信音を確認してから送信します。

1 （ファクス）ボタンが緑色に点灯していないときは（ファクス）ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）原稿をセットする

3 受話器を取るか（オンフック/保留）を押して、相手先のファクス番号を入力する

4 相手先の受信音（ピー）を確認して（スタート）を押す

ファクスが送信されます。

5 受話器を戻す

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。
- （オンフック/保留）を押してダイヤルしたあと、送信先の相手の声が聞こえたら受話器を取ってください。
- IPファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

ファクス送信を途中で止める

自動送信のとき

1 （停止/終了）を押す

```
ｶｲｼﾞｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

2 （1 ア）を押す

手動送信のとき

1 （停止/終了）を押す

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを送信します。

1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 （スタート）を押す

4 受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

《ファクス送信》

便利にダイヤルする

ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は4つあります。

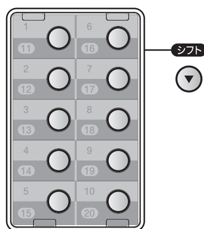
ダイヤルボタンを使用する

ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。



ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは20件登録できます。
11～20に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、シフトを押しながらワンタッチボタンを押します。



補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたは、⇒98ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

を押し、記号1 * トーン を押した後、登録されている短縮番号（001～200）を押してダイヤルします。短縮ダイヤルには最大200件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは、⇒100ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。

電話帳を使用する

を押し、を押すと五十音順に登録されている名前が表示されます。で検索してダイヤルします。

補足

- グループダイヤルの登録のしかたは、⇒ 102 ページ「グループダイヤルを登録する」を参照してください。
- 電話帳の作成のしかたは、⇒ 98 ページ「電話帳を作成する」を参照してください。

電話帳から送信する

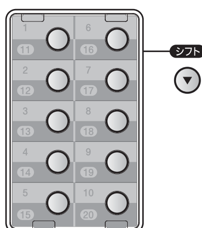
あらかじめ電話帳に登録されている相手先にファクスを送信することができます。

ワンタッチダイヤルを使って送信する

1 ファクスボタンが緑色に点灯していないときはファクスボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 相手先の登録されているワンタッチボタンを押す



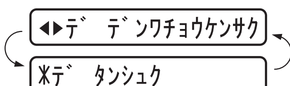
4 相手先の表示を確認してスタートを押す

短縮ダイヤルを使って送信する

1 ファクスボタンが緑色に点灯していないときはファクスボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 電話帳ボタンを押す



4 記号1/トーン（*）を押して相手先の登録されている短縮番号（001～200）を押す

エイギ゛ョウ ダ゛イ1

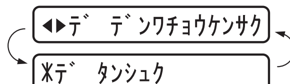
5 相手先の表示を確認してスタートを押す

電話帳を検索して送信する

1 ファクスボタンが緑色に点灯していないときはファクスボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 電話帳ボタンを押す



4 探したい名前の最初の１文字を入力する

5 ◀ ▶で目的の名前を検索する

エイギ゛ョウ ダ゛イ1 ▶

6 相手先の表示を確認してスタートを押す

補足

- 入力した最初の1文字を含む50音順、アルファベット順で最初の相手先名称が表示されます。

「エ」から始まる名前が登録されていた場合

エイギョウ ダイ1 ▶

「エ」から始まる名前が登録されていなかった場合

オXXX ▶

- 登録されている名前は で登録番号順に表示させることもできます。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは、⇒115ページ「電話帳リストを印刷する」を参照してください。
- 文字入力のしかたについては、⇒168ページ「文字入力をする」を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては、⇒98ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」、⇒100ページ「短縮ダイヤルを登録する」、⇒102ページ「グループダイヤルを登録する」を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 **ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す**

2 **ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする**

3 **再ダイヤル/ポーズ を押す**

最後にかけた番号が表示されます。

4 **スタート を押す**

補足

- 自動再ダイヤルについて
  - 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは5分間隔で3回繰り返します。
  - 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
  - 自動再ダイヤルを3回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ｹｯｶ」の欄が「ｵｳﾄｳﾅｼ」または「ﾊﾅｼﾁｭｳ」であることを確認し、再度送信してください。
  - 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
  - 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）の設定について

誤って間違った相手に電話をかけたり、ファクスを送信したりしないように、ダイヤル発信を制限することができます。
「2ド　ニュウリョク」に設定すると、電話またはファクス番号の再入力が求められ、正しい番号を入力した場合にのみ、ダイヤリングが実行されます。間違った番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
「On」に設定すると、すべてのダイヤル発信ができなくなります。
「Off」に設定すると、ダイヤル制限機能は働きません。
この機能は、直接入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルそれぞれで設定できます。

直接入力を制限する

1 Menu/Set 2(カ) 6(ハ) 1(ア) を押す

1. チョクセツ ニュウリョク

2 ▲▼で設定を選択する

「Off」「2ド　ニュウリョク」「On」の中から選択します。

3 Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

ワンタッチダイヤルを制限する

1 Menu/Set 2(カ) 6(ハ) 2(カ) を押す

2. ワンタッチダイヤル

2 ▲▼で設定を選択する

「Off」「2ド　ニュウリョク」「On」の中から選択します。

3 Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

短縮ダイヤルを制限する

1 Menu/Set 2(カ) 6(ハ) 3(サ) を押す

3. タンシュクダイヤル

2 ▲▼で設定を選択する

「Off」「2ド　ニュウリョク」「On」の中から選択します。

3 Menu/Set を押す

4 停止/終了 を押す

注意

- ■外付電話使用時や オンフック/保留 を押してからダイヤルする場合は、「2ド　ニュウリョク」設定は無効です。
- ■ オンフック/保留 を押してダイヤルする操作は禁止できません。
- ■「On」または「2ド　ニュウリョク」に設定すると、同報送信や電話帳機能は使用できません。

《ファクス送信》

ファクスの便利な送りかた

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

一時的に変更する

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1 ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 ファクス画質 を押す

4 ▲▼で画質を選択して Menu Set を押す

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

設定内容を保持する

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1 ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu Set 2 2 2 を押す

2.ﾌｧｸｽ ｶﾞｼﾂ

4 ▲▼で画質を選択する

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

5 Menu Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
  - 「ヒョウジュン」（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - 「ファイン」（ファインモード）：小さな文字のとき
  - 「スーパーファイン」（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - 「シャシン」（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更しファクスを送信します。ファクスの送信が終わると「ｼﾞﾄﾞｳ」に戻ります。

1 ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 1 を押す

1.ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ

4 ▲▼ で原稿濃度を選択する

「ｼﾞﾄﾞｳ」「ｳｽｸ」「ｺｸ」の中から選択します。

ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ:ｼﾞﾄﾞｳ

5 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- 原稿濃度は、以下の3種類の中から選択します。お買い上げ時は「ｼﾞﾄﾞｳ」に設定されています。
  - 「ｼﾞﾄﾞｳ」: 普通の文字の原稿が多いときに設定します。
  - 「ｳｽｸ」: 濃い色の原稿が多い場合に設定します。
  - 「ｺｸ」 : えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

送付書を付けて送信する

ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

1 ファクスボタンが緑色に点灯していないときはファクスボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 7 を押す

7.ソウフショ

4 ▲▼で送付書の設定を選択して Menu/Set を押す

- 「コンカイノミ：On」「コンカイノミ：Off」「On」「Off」「プリント　サンプル」の中から選択します。
- 「プリント　サンプル」を選んだ場合：
  スタートを押します。
- 「On」「コンカイノミ：On」を選んだ場合：
  手順5へ進んでください。
- 「Off」「コンカイノミ：Off」を選んだ場合：
  手順8へ進んでください。

ソウフショ：On

5 ▲▼でコメントを選択して Menu/Set を押す

1.コメント　ナシ

6 送信枚数を入力する

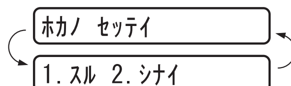
送信枚数は、「コンカイノミ：On」を選択した場合のみです。

マイスウ?　：00

7 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

8 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す



9 相手先のファクス番号を入力してスタートを押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順4では以下の4つの中から選んでください。
  - 「On」　　　　　　：毎回送付書をつける
  - 「Off」　　　　　　：毎回送付書をつけない
  - 「コンカイノミ：On」：今回のみ送付書をつける
  - 「コンカイノミ：Off」：今回のみ送付書をつけない
  - 「プリント　サンプル」：プリントサンプルを出力する
- 手順５での送付書のコメントは下記の６種類の中から選べます。
  - 1.コメント ナシ
  - 2.オデンワ クダサイ
  - 3.シキュウ
  - 4.シンテン
  - 5.（オリジナル コメント）
  - 6.（オリジナル コメント）

  ２種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたは、⇒83ページ「送付書のオリジナルコメントを登録する」を参照してください。
- 送付書送信を「On」に設定したときには、送信枚数は送付書に印刷されません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印刷されます。
- 送付書の、「TO：」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。⇒98ページ「電話帳を作成する」を参照してください。

注意

発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。⇒46ページ「名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕」を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1 Menu/Set 2 2 8 を押す

8.ソウフショ コメント

2 ▲▼でコメントを登録する箇所を選び、Menu/Set を押す

コメントは5か6に登録できます。

5.

3 コメントを入力して Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

補足

コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては、⇒168ページ「文字入力をする」を参照してください。

同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。最大270ヶ所まで指定できます。

1 ファクスボタンが緑色に点灯していないときは ファクスボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 相手先のファクス番号を入力して Menu/Set を押す

このとき、電話帳に登録されている電話番号を選択することもできます。

- 例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

▼ ＊ 0 0 1 Menu/Set を押します。

4 手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して Menu/Set を押す

1件登録するごとに下の画面が表示されます。

ダイヤル シテクダサイ

スタートボタンヲ オス

5 すべての相手先を入力して スタート を押す

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには 停止/終了 を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は Menu/Set 2 7 で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。⇒89ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、停止/終了 を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。停止/終了 を押していったん終了し、メモリに蓄積したファクスを出力して消去してから行ってください。⇒108ページ「メモリに受信したファクスを印刷する」を参照してください。

原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 5 を押す

```
5.ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ
```

4 ▲▼でリアルタイム送信の設定を選択する

「ｺﾝｶｲﾉﾐ:On」「ｺﾝｶｲﾉﾐ:Off」「On」「Off」の中から選択します。

```
ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ:On
```

5 Menu/Set を押す

```
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 本製品は通常、メモリー送信をしていますが、リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信を「On」に設定すると、タイマー送信やポーリング送信の送信方法は原稿送信になり、メモリー送信を選択することができません。⇒88ページ「メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕」を参照してください。
- IPファクスを使って、リアルタイム送信はできません。データコネクト設定のIPファクスが、「ｾﾝﾖｳ」または「ﾕｳｾﾝ」の場合、メモリー送信となります。⇒69ページ「IPファクスの設定をする」を参照してください。

相手の操作で原稿を送信する

標準ポーリング送信をする

相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。
これを「ポーリング送信」といいます。

1 [ファクス] ボタンが緑色に点灯していないときは [ファクス] ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 [Menu Set] [2 ABC] [2 ABC] [6 MNO] を押す

`6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ`

4 [▲▼] で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して [Menu Set] を押す

`ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ`

5 [1]（原稿送信）または [2 ABC]（メモリー送信）を押す

`1.ｹﾞﾝｺｳ 2.ﾒﾓﾘｰ`

6 他の設定を続けるときは [1] を、終了するには [2 ABC] を押す

`ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ`

`1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ`

7 （スタート）を押す

手順5で 1 を選んだときは
原稿はそのままで「ポーリング　タイキチュウ」と表示されます。

手順5で 2 を選んだときは
原稿がメモリに読み込まれます。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは 1 回のみの送信となります。メモリー送信のときは何回でも送信できます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは、⇒89ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。
- IP ファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うことができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。

1 （ファクス）ボタンが緑色に点灯していないときは（ファクス）ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 6 を押す

6.ホ゜ーリンク゛　ソウシン

4 ▲▼で「キミツ」を選択して Menu/Set を押す

ホ゜ーリンク゛：キミツ

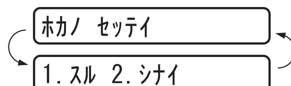
5 ４桁のパスワードを入力して Menu/Set を押す

ホ゜ーリンク゛：XXXX

6 1（原稿送信）または 2（メモリー送信）を選択して Menu/Set を押す

1.ケ゛ンコウ　2.メモリー

7 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す



8 （スタート）を押す

手順6で 1 を選んだときは
原稿はそのままで「ポーリング　タイキチュウ」と表示されます。

手順6で 2 を選んだときは
原稿がメモリに読み込まれます。

補足

- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは 1 回のみの送信となります。メモリー送信のときは何回でも送信できます。
- IP ファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2(カ) 2(カ) 9(ラ) を押す

9.カイガ゛イソウシン モート゛

4 ▲▼ で「On」を選択する

カイガ゛イソウシン:On

5 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

6 他の設定を続けるときは 1(ア) を、終了するには 2(カ) を押す

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから スタート を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1 ファクス ボタンが緑色に点灯していないときは ファクス ボタンを押す

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 Menu/Set 2 2 3 を押す

3.タイマー ソウシン

4 送信する時刻を入力して Menu/Set を押す

例：午後3時5分の場合は「1505」

シテイ ジ゛コク=15:05

5 1（原稿送信）または 2（メモリー送信）を選択して Menu/Set を押す

1.ケ゛ンコウ 2.メモリー

補足

● リアルタイム送信が「On」に設定されていると、原稿送信に設定されるため選択画面は表示されません。メモリー送信を選択するには、リアルタイム送信を「Off」に設定してください。⇒84ページ「原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕」を参照してください。

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押す

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

● タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
● メモリに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
● メモリー送信では、相手が話し中などで送信できなかったときは、5分おきに3回まで再ダイヤルします。

メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 Menu/Set 2 2 4 を押す

4.トリマトメ ソウシン

2 ▲▼で「On」を選択する

トリマトメ ソウシン:On

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 Menu/Set 2(カ) 7(マ) **を押す**

7.ツウシン マチ カクニン

2 **送信待ちが複数のときは▲▼で選択して Menu/Set を押す**

- 送信待ちが1件のときは手順3に進みます。
- 確認のみのときは 停止/終了 を押します。

#001 12:34 スズキ
カイジョ 1.スル 2.シナイ

3 **解除するときは 1(ア) を押す**

解除を中止するときは 2(カ) を押します。

ウケツケマシタ

4 停止/終了 **を押す**

補足
送信待ちのファクスがないときには「セッテイガ サレテイマセン」と表示されます。

《ファクス受信》

ファクスを受信する

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 Menu/Set 2 1 5 を押す

5.ジドウ シュクショウ

2 ▲▼で「On」を選択する

ジドウ シュクショウ:On

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約355mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約355mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。

印刷の濃さを設定する

受信したファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1 Menu/Set 2 1 6 を押す

6.インサツ ノウド

2 ▲▼で印刷濃度を設定する

▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

▼ −□□■□□+ ▲

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は中間に設定されています。

メモリ代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリに蓄積します（メモリ代行受信）。

- 記録紙がなくなったとき（ｷﾛｸｼｦ　ｵｸﾚﾏｾﾝ）
- トナーがなくなったとき（ﾄﾅｰｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ）
- 記録紙がつまったとき（ｷﾛｸｼｶﾞ　ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ）
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ　ﾏﾁｶﾞｲ）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリから消去されます。

注意

メモリがいっぱいになると、それ以降はメモリ代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 **呼出ベルが鳴ったら、受話器を取る**

2 **「ポーポー」と音がしていたら（スタート）を押す**

相手と通話したあとファクスを受信したいときは、（ファクス）を押してファクスモードにしてから（スタート）を押してファクスを受信します。

3 **受話器を戻す**

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては、⇒47ページ「受信モードについて」を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。⇒92ページ「親切受信で受信する」を参照してください。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して（スタート）を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを受信します。

1 **相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう**

補足

親切受信を「On」に設定していると、本製品はファクスを自動的に受信します。親切受信を「On」に設定していない場合は、手順2を行います。

2 **「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受話器を持ったまま（スタート）を押す**

3 **受話器を戻す**

本製品に接続されている電話機で受信する

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

親切受信を「On」に設定していると、本製品はファクスを自動的に受信します。親切受信を「On」に設定していない場合は、手順2を行います。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本製品に接続されている電話機でリモート起動番号「# 51」を押す

本製品がファクス受信を始めます。

ｼﾞｭｼﾝ ﾁｭｳ

3 受話器を戻す

受話器は約5秒後に戻します。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、Menu/Set 2 1 4 で「リモート ジュシン」を「On」に設定しておく必要があります。

親切受信で受信する

受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま７秒待つと、自動的にファクスを受信します。

1 Menu/Set 2 1 3 を押す

3.ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「On」を選択する

ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ:On

3 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止/終了 を押す

補足

受信時の操作

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 親切受信を「On」に設定しているとき、受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシン チュウ」と表示されたら受話器を戻します。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらない場合があります。そのときは スタート を押してください。
- 親切受信を「Off」に設定しているとき、受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、スタート を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Off」に設定してください。
- 親切受信の設定が「Off」に設定してある場合でも、本製品に接続されている電話機から操作をしてリモート起動でファクス受信を開始させることができます。⇒93ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 親切受信機能は、受話器を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信機能を「On」に設定しているときは、本製品に接続されている電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。⇒92ページ「親切受信で受信する」を参照してください。
親切受信がうまくはたらかないか、親切受信の設定が「Off」になっている場合、本製品に接続されている電話機を操作してファクス受信をさせることができます。

1 本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を押す

本製品がファクス受信を始めます。

ｼﾞｭｼﾝ ﾁｭｳ

2 受話器を戻す

受話器は約5秒後に戻します。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、Menu/Set 2 1 4 で「リモート ジュシン」を「On」に設定しておく必要があります。

リモート受信設定のしかた

リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

1 Menu/Set 2(カ) 1(ア) 4(タ) を押す

4.ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「On」を選択する

ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ:On

3 Menu/Set を押す

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

ｷﾄﾞｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:#51

4 Menu/Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

5 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

本製品の操作で相手の原稿を受信する

標準ポーリング受信する

本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
これを「ポーリング受信」といいます。

1 Menu/Set 2 1 7 を押す

7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

3 相手先のファクス番号を入力する

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

4 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- ポーリング受信の場合、通話料はこちらの負担となります。

順次ポーリング受信する

1 回の操作で、最大 270ヶ所の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。
これを「順次ポーリング受信」といいます。

1 Menu/Set 2 1 7 を押す

7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号を入力して Menu/Set を押す

電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

- 例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

▼ ＊ 0 0 1 Menu/Set を押します。

4 手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して Menu/Set を押す

5 すべての相手先を入力して スタート を押す

ダイヤルを開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

機密ポーリング受信する

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

1 Menu/Set 2 1 7 を押す

7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「キミツ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ

3 ４桁のパスワードを入力する

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX

4 Menu/Set を押す

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

ダイヤルを開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

補足
相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1 Menu/Set 2 1 7 を押す

7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ

2 ▲▼で「ﾀｲﾏｰ」を選択して Menu/Set を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾀｲﾏｰ

3 指定時刻を入力する

例：午後3時15分の場合は「1515」

ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ:15:15

4 Menu/Set を押す

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

補足
時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは、⇒89ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

3章

電話帳

《電話帳》

電話帳を作成する

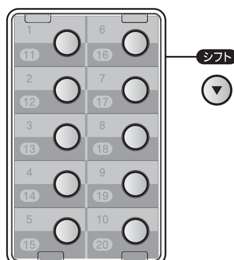
ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と15文字までの相手先の名称を、1〜20（最大20件）に登録することができます。

1 Menu/Set 2ABC 3DEF 1 を押す

1.デ゛ンワチョウ/ワンタッチ

2 登録するワンタッチボタンを押す



- 11〜20に登録するときは、シフト ▼ を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

#001:

4 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

ナマエ:

5 Menu/Set を押す

続けて登録する場合は、手順2〜4を繰り返します。



6 停止/終了 を押す

補足

- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に ＊（記号1/トーン）を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶ を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは ▶（2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては、⇒168ページ「文字入力をする」を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、（再ダイヤル/ポーズ）を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。⇒115ページ「電話帳リストを印刷する」を参照してください。

注意

- ■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。⇒82ページ「送付書を付けて送信する」を参照してください。
- ■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2ABC 3DEF 1 **を押す**

1.デ゛ンワチョウ/ワンタッチ

2 **変更するワンタッチボタンを押す**

登録されている内容が表示されます。

#005:スズ゛キ ケイコ

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

3 1 **を押す**

変更しないときは、2ABC を押します。

#005:03XXXXXXXX

4 **新しい相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す**

電話番号は20桁まで入力できます。(カッコは登録できません。)

5 **新しい相手先の名前を入力する**

名前は15文字まで登録できます。

6 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

7 停止/終了 **を押す**

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

手順3で 1 を押した後、停止/終了 を押すと電話番号が消去されます。確定する場合は Menu/Set を押します。

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～200（最大200件）に登録することができます。

1 Menu/Set、2 ABC（カ）、3 DEF（サ）、2 ABC（カ）を押す

2.デ゛ンワチョウ/タンシュク

2 登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して Menu/Set を押す

- 001～200の間で入力します。（例：005）
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

＊005:

4 相手先の名前を入力する

名前は15文字まで登録できます。

ナマエ:

5 Menu/Set を押す

続けて登録する場合は、手順2～4を繰り返します。

ウケツケマシタ

6 停止/終了 を押す

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に ＊（記号1/トーン）を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは▶（2 回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては、⇒ 168 ページ「文字入力をする」を参照してください。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、（再ダイヤル/ポーズ）を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。⇒115 ページ「電話帳リストを印刷する」を参照してください。

注意

- ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。⇒82ページ「送付書を付けて送信する」を参照してください。
- 電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2ABC(カ) 3DEF(サ) 2ABC(カ) **を押す**

2.デンワチョウ/タンシュク

2 **変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して Menu/Set を押す**

登録されている内容が表示されます。

＊005:エイギョウ ダイ1

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

3 1(ア) **を押す**

変更しないときは、2ABC(カ)を押します。

＊005:03XXXXXXXX

4 **新しい相手先の電話番号を入力して Menu/Set を押す**

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

5 **新しい相手先の名前を入力する**

名前は15文字まで登録できます。

6 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

7 停止/終了 **を押す**

補足

短縮ダイヤルを削除するには

手順3で1(ア)を押した後、停止/終了を押すと電話番号が消去されます。確定する場合はMenu/Setを押します。

グループダイヤルを登録する

電話帳に登録した複数の相手先を、1 グループとしてまとめて登録できます。グループダイヤルとして登録し、同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。⇒83ページ「同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕」、⇒94ページ「順次ポーリング受信する」を参照してください。

注意

■グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

■グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

1 Menu/Set 2 ABC(カ) 3 DEF(サ) 3 DEF(サ) **を押す**

3.デ゛ンワチョウ/ク゛ルーフ゜

2 グループダイヤルとして使用するワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチボタンに登録するとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
  （短縮）を押して短縮番号（001 ～ 200）を入力し、Menu/Set を押します。

3 グループ番号をダイヤルボタンで１～8を入力して Menu/Set を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ﾔﾘﾅｵｼﾃ　ｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

ク゛ルーフ゜　タ゛イヤル:G01

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

例：ワンタッチダイヤルを［5］、短縮ダイヤルを（短縮） 0(ワ°) 0(ワ°) 9 WXYZ(ラ) と入力した場合

G01:#005*009

5 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力して Menu/Set を押す

6 グループ名を入力する

グループ名は15文字まで登録できます。

ﾅﾏｴ:

7 Menu/Set **を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

8 停止/終了 **を押す**

補足

● 1 つのグループダイヤルには、最大219件まで登録できます。

● グループダイヤルは８グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。

● ワンタッチダイヤルの11～20を登録するときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。

● 文字入力のしかたについては、⇒168ページ「文字入力をする」を参照してください。

● グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。

● 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。⇒ 115 ページ「電話帳リストを印刷する」を参照してください。

グループダイヤルを変更する

1 Menu/Set 2(カ) 3(サ) 3(サ) **を押す**

3.テ゛ンワチョウ/ク゛ルーフ゜

2 **変更するグループダイヤル番号を入力する**

- **ワンタッチボタンに登録されているとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録されているとき**
  （短縮）を押して短縮番号（001 ～ 200）を入力し、Menu/Setを押します。

G01:エイキ゛ョウ

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

3 1(ア) **を押す**

変更しないときは、2(カ)を押します。

G01:#005✱009

4 **変更するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して Menu/Set を押す**

5 **グループ名を変更する場合は、新しいグループ名を入力する**

変更しない場合はそのままMenu/Setを押します。

6 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

7 停止/終了 **を押す**

補足

グループダイヤルを削除するには

手順3で1(ア)を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で停止/終了を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合はMenu/Setを押します。

《ナンバー・ディスプレイ》

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。
- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する ⇒116ページ「着信履歴リストを印刷する」

着信履歴を確認する

1 シフトを押しながら▽を押す

05)052XXXXXXX

2 ▲▼で確認する

02)03XXXXXXXX

3 Menu/Setを押す

詳細情報が表示されます。

02)03XXXXXXXX

02/24　15:01

4 停止/終了を押す

着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

1 シフトを押しながら▽を押す

05)052XXXXXXX

2 ▲▼で電話番号を選択してMenu/Setを押す

02)03XXXXXXXX

02/24　15:01

3 もう一度Menu/Setを押す

4 1「1. デンワチョウ／ワンタッチ」または 2「2. デンワチョウ／タンシュク」を押す

5 相手先の名前を入力してMenu/Setを押す
- 名前は15文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 番号に空きがないときは「トウロクガ　イッパイデス」と表示されたあと、手順4に戻ります。

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

6 停止/終了を押す

補足

「ソトヅケデンワ　ユウセン」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

4章

転送・リモコン機能

《転送機能》

電話呼び出し機能とファクス転送

電話呼び出し機能とファクス転送について

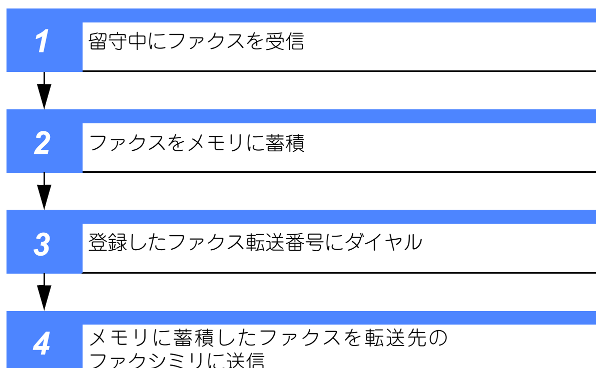
ファクスがメモリに蓄積されると、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）、外出先のファクスへ転送（ファクス転送）することができます。

注意

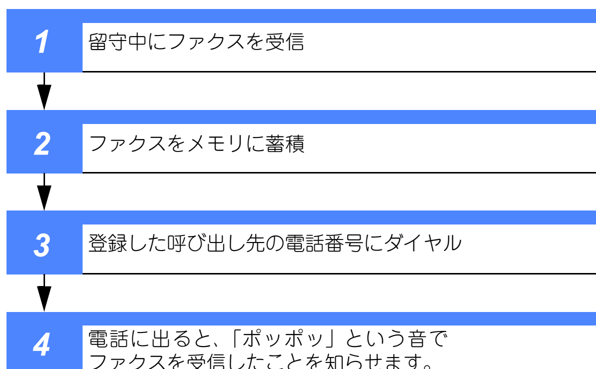
電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送の流れ

受信したファクスを、他の場所のファクシミリに転送することができます。



電話呼び出し機能の流れ



ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

1 Menu/Set 2 5 1 を押す

1.テンソウ/メモリージュシン

2 ▲▼で「ファクス テンソウ」を選択して Menu/Set を押す

ファクス テンソウ

3 転送先番号（転送先の電話番号）を入力して Menu/Set を押す

4 ▲▼で設定を選択する

- 「ホンタイデモ インサツ スル」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「ホンタイデハ インサツ シナイ」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

ホンタイデモ インサツ スル

5 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

6 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。⇒112ページ「外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する」を参照してください。
- 転送先番号は最大20桁まで入力できます。（カッコは入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

1 Menu/Set 2 5 1 を押す

1.テンソウ/メモリージュシン

2 ▲▼で「デンワ ヨビダシ」を選択して Menu/Set を押す

デンワ ヨビダシ

3 呼び出し先番号を入力して Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。⇒112ページ「外出先からファクスを取り出す」を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

《転送機能》

ファクスをメモリで受信する

受信したファクスを本製品のメモリに蓄積して転送することができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定すると、受信したファクスをメモリに蓄積して外出先から取り出すことができます。

1 Menu/Set 2 5 1 を押す

1.テンソウ/メモリージ゛ュシン

2 ▲▼で「メモリー　ジュシン」を選択する

メモリー　ジ゛ュシン

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大1500ページまでできます（ただしメモリの残量や原稿の内容によって変化します）。
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリ代行受信を行います。
- メモリに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリー受信を「Off」にすると「ファクス　ショウキョ?」「1.スル　2.シナイ」が交互に表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリに残しておくときは、2 を押してください。1 を押すとメモリから消去されます。

メモリに受信したファクスを印刷する

メモリー受信が設定されているときに、メモリー受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリから消去します。

1 Menu/Set 2 5 3 を押す

3.ファクス　シュツリョク

2 スタート を押す

印刷を開始します。

スタートボ゛タンヲ　オス

3 印刷終了後 停止/終了 を押す

補足

メモリに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ　アリマセン」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

外出先から本製品を操作する:リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

注意

暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 Menu/Set 2(カ) 5(ナ) 2(カ) を押す

2.アンショウ バンゴウ

2 暗証番号を入力する

ダイヤルボタンで 3 桁の番号を入力してください。
（暗証番号は最後に「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

アンショウバンゴウ:---*

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋＊)を入力する

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がメッセージを受信し、メモリに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる。この間に、リモコンコードを入力する

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。⇒111ページ「リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕」を参照してください。

4 リモコンアクセスを終了するときは、9 0 を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - **ファクス専用モードのとき**
    メモリー受信の場合、本製品が応答すると、約４秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。メモリー受信については、⇒108ページ「ファクスをメモリで受信する」を参照してください。
  - **自動切替モードのとき**
    本製品が応答すると約４秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - **外付留守電モードのとき**
    本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4〜5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - **電話モードのとき**
    呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- １つのリモコンコードの入力が終了すると、短い「ピピッ」という応答音が聞こえます。短い「ピピッ」の間に、次のリモコンコードを入力してください。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を下記のように操作することができます。

機　　　　能	コード
メモリー受信を解除します。(電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます)	951
ファクス転送に設定します。(番号未登録時は設定できません)	952
電話呼び出しに設定します。(番号未登録時は設定できません)	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、# を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について次のページで手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1 **外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする**

2 **本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する**

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 **「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(6)(2)を押す**

4 **外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に(#)を2回押す**

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 **外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする**

2 **本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する**

3 **「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(5)(4)を押す**

4 **「ピー」という音が聞こえたら、新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に(#)を2回押す**

転送番号は最大20桁まで入力できます。

5 **「ピー」という応答音が聞こえたら、(9)(0)を押して受話器を戻す**

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、(#)を1回押します。(#)を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2の操作を行ってください。

5章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	送信レポート	送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2	機能案内リスト	機能の解説を印刷します。
3	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
4	通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。
7	LAN設定内容リスト	ネットワーク機能に登録・設定されている内容を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- タイマー通信レポート
  タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  同報送信が終了すると印刷されます。

注意

電源スイッチをOffにしたまま3～4日放置すると、通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「1. ソウシン　レポート」を選択する

1. ソウシン　レポート

3 Menu Set を押す

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「2. キノウアンナイ」を選択する

2. キノウアンナイ

3 Menu Set を押す

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「3.デンワチョウ　リスト」を選択する

3. デンワチョウ　リスト

3 Menu Set を押す

通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「4. ツウシン　カンリ　レポート」を選択する

4. ツウシン　カンリ　レポート

3 Menu Set を押す

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録･設定されている内容を印刷します。

1 レポート を押す

2 で「5. セッテイナイヨウ　リスト」を選択する

5. セッテイナイヨウ　リスト

3 Menu Set を押す

着信履歴リストを印刷する

着信した履歴を印刷します。

1 レポート ◯ を押す

2 ▲▼で「6. チャクシンリレキ　リスト」を選択する

6. チャクシンリレキ リスト

3 Menu/Set を押す

LAN設定内容リストを印刷する

ネットワーク機能に登録・設定されている内容を印刷します。

1 レポート ◯ を押す

2 ▲▼で「7. LANセッテイナイヨウリスト」を選択する

7. LANセッテイナイヨウリスト

3 Menu/Set を押す

送信レポートの出力設定

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

1 Menu/Set 2 ABC 4 GHI 1 を押す

1. ソウシン　レポート

2 ▲▼で印刷する送信レポートの出力設定を選択する

「On」「On +イメージ」「Off」「Off +イメージ」の中から選択します。

ソウシン：Off+イメージ

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off+イメージ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の４種類の中から選択します。
  - 「On」： 送信後に毎回自動的に印刷します。
  - 「On+イメージ」：「On」の動作に加えて、ファクスの１ページ目の画像も表示されます。
  - 「Off」： 通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
  - 「Off+イメージ」：「Off」の動作に加えて、ファクスの１ページ目の画像も表示されます。
- リアルタイム送信時には画像は表示されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 Menu/Set 2(カ) 4(タ) 2(カ) **を押す**

2.ツウシン カンリ カンカク

2 ▲▼ **で間隔を設定して** Menu/Set **を押す**

- 「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」「6 ジカンゴト」「12 ジカンゴト」「24 ジカンゴト」「2 カ ゴト」(2日ごと)「7 カ ゴト」(7日ごと)の中から選択します。
- 「7 カ ゴト」を設定したときは、曜日を▲▼で選択して Menu/Set を押してください。

50 ケン ゴト

3 **開始時間を入力する**

開始時間は、「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」以外を選択した場合のみです。

カイシ ジカン:00:00

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリから消去されます。

4 Menu/Set **を押す**

ウケツケマシタ

5 停止/終了 **を押す**

補足

お買い上げ時は、「50 ケン ゴト」に設定されています。

6章

コピー

コピーをする

コピー設定

《コピーをする》

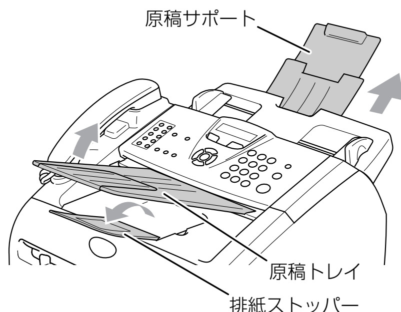
コピーをする

コピーする

1 コピーボタンが緑色に点灯していないときはコピーボタンを押す

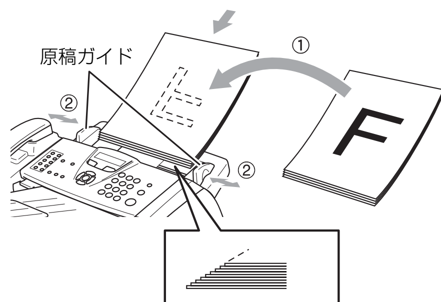


2 原稿サポートを最後まで引き出して、原稿トレイを持ち上げ、排紙ストッパーを起こす



3 原稿のコピーする面を下にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に20枚までセットできます。



4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）

5 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときは、⇒124 ページ「ソートコピーかスタックコピーかを設定する」を参照してください。

6 スタートを押す

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときは、⇒129 ページ「ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは」を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。

注意

原稿を複数枚セットしたときは、キャリアシートはお使いになれません。キャリアシートをお使いになるときは 1 枚ずつセットしてください。

「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本製品内部のメモリがいっぱいになると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

ﾒﾓﾘｰｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ

このときは、（スタート）を押して読み込まれた原稿のみをコピーするか、（停止／終了）を押してコピーをキャンセルし、メモリに蓄積されたファクスを出力して消去してください。

メモリに受信したファクスを印刷します。
⇒108ページ「メモリに受信したファクスを印刷する」を参照してください。

補足

「メモリーガ　イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

《コピー設定》

一時的に設定する

拡大･縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

1 コピーボタンが緑色に点灯していないときはコピーボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション/コピーを押し、▲▼で「カクダイ／シュクショウ」を選択してMenu Setを押す

5 ▲▼で倍率を選択する

100%

倍率は以下の中から選択します。

- 100%
- 115%　B5→A4
- 141%　A5→A4
- 200%
- ジドウ
- カスタム
  （50%～200%：ダイヤルボタンで入力）
- 50%
- 70%　A4→A5
- 82%　B4→A4
- 87%　A4→B5
- 91%　フルページ
- 94%　A4→USレター
- 97%　USレター→A4

6 Menu Setを押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（50%～200%）を入力してMenu Setを押してください。

ウケツケマシタ

7 スタートを押す

補足

- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。
- 原稿サイズがB4のとき「ジドウ」を選択したときは、記録紙トレイにセットされているサイズに縮小されます。

コピーの画質を設定する

画質を変えてコピーすることができます。

1 コピー ボタンが緑色に点灯していないときは コピー ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション/コピー を押し、▲▼で「コピー　ガシツ」を選択して Menu/Set を押す

5 ▲▼で印刷するコピーの画質を選択する

「ジドウ」「テキスト」「シャシン」の中から選択します。

- 「ジドウ」　：自動的に画質を調整します。
- 「テキスト」：薄い文字をはっきりと印刷します。
- 「シャシン」：グラデーションをきれいに印刷します。

ジ ド ウ ▲▼

6 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

7 スタート を押す

コントラストを調整する

コピーのコントラストを変えることができます。

1 コピー ボタンが緑色に点灯していないときは コピー ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション/コピー を押し、▲▼で「コントラスト」を選択して Menu/Set を押す

5 ▲▼で印刷するコピーのコントラストを調整する

コントラストは5段階で調整できます。▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

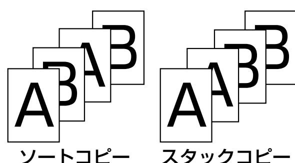
▼ −□□■□□+ ▲

6 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

7 スタート を押す

ソートコピーかスタックコピーかを設定する



1 コピー ボタンが緑色に点灯していないときは コピー ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション/コピー を押し、▲▼で「スタック／ソート コピー」を選択して Menu Set を押す

スタック/ソート コピー

5 ▲▼で「スタックコピー」または「ソートコピー」を選択する

スタックコピー

6 Menu Set を押す

ウケツケマシタ

7 スタート を押す

補足

- お買い上げ時は、「スタックコピー」に設定されています。
- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

注意

- ■原稿の読み込み中に「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときは、⇒121 ページ「「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときは」を参照してください。
- ■メモリの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリの残量に注意してください。

N in 1コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

〈2 in 1（タテナガ）〉



〈2 in 1（ヨコナガ）〉



〈4 in 1（タテナガ）〉



〈4 in 1（ヨコナガ）〉



N in 1コピーのしかた

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

1 コピー ボタンが緑色に点灯していないときは コピー ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1～99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲▼で「レイアウト コピー」を選択して Menu Set を押す

レイアウト コピ゜ー

5 ▲▼で希望するレイアウトを選択する

「Off（1in1）」「2in1（タテナガ）」「2in1（ヨコナガ）」「4in1（タテナガ）」「4in1（ヨコナガ）」の中から選択します。

2in1 (タテナガ゛)

6 Menu Set を押す

ウケツケマシタ

7 スタート を押す

原稿の読み取りが終わるとコピーが開始されます。

補足

N in 1コピーでは、拡大／縮小機能は使えません。

《コピー設定》

設定内容を保持する

お買い上げ時の本製品の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更する場合は、⇒122ページ「一時的に設定する」を参照してください。

画質の設定を変更する

「画質」のレベルを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 DEF 1 を押す

1.コピー ガシツ

2 ▲▼で画質を選択する

ガシツ:ジドウ

「テキスト」「シャシン」「ジドウ」の中から選択します。
- 「ジドウ」　：自動的に画質を調整します。
- 「テキスト」：薄い文字をはっきりと印刷します。
- 「シャシン」：グラデーションをきれいに印刷します。

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

コントラスト設定を変更する

「コントラスト」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 Menu/Set 3 DEF 2 ABC を押す

2.コントラスト

2 ▲▼でコントラストを調整する

コントラストは5段階で調整できます。▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

▼ −□□■□□+ ▲

3 Menu/Set を押す

ウケツケマシタ

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は中間に設定されています。

7章

こんなときは

《日常のお手入れ》

紙づまりについて

紙づまりのときのメッセージ

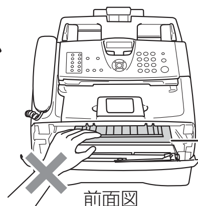
紙づまりのときは、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

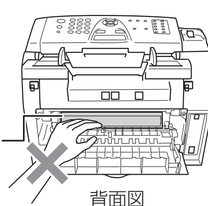
原稿がつまったとき ⇒129ページ「ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは」を参照してください。	ゲ゛ンコウカ゛　ツマッテイマス
記録紙がつまったとき ⇒129ページ「前面に記録紙がつまったときは」、⇒131ページ「背面に記録紙がつまったときは」を参照してください。	キロクシカ゛　ツマッテイマス

注 意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。





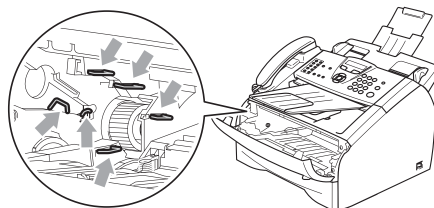


高温注意!

前面図　　背面図

注 意

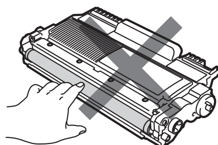
■本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。



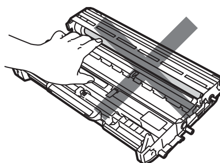
■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■トナーカートリッジ、ドラムユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>



<ドラムユニット>



■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

■つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

補足

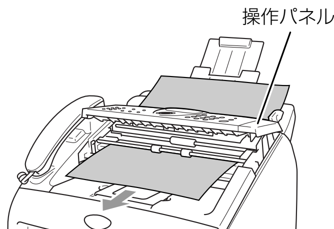
使用できない記録紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒35ページ「記録紙について」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 操作パネルを開く

3 つまった原稿を手前に引いて取り除く



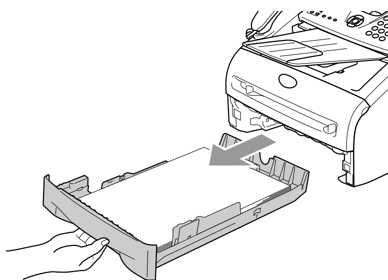
4 操作パネルを閉じる

5  を押す

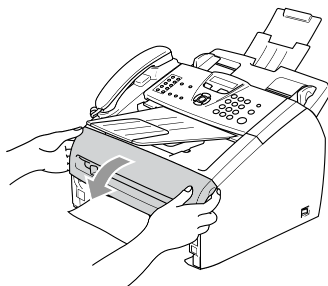
前面に記録紙がつまったときは

1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 記録紙トレイを完全に引き出す

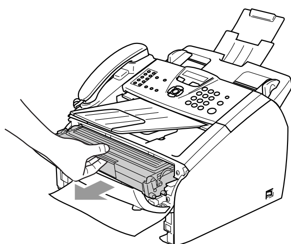


3　フロントカバーを開く



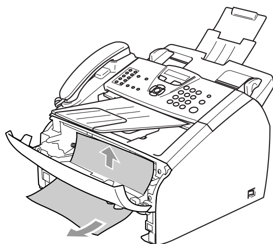
4　ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。
もし、ドラムユニットが簡単に引き出せないときは、無理に引き出さないでください。

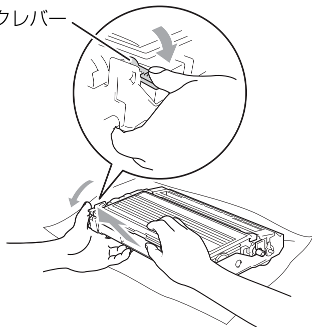


5　つまった記録紙を取り除く

破らないようにゆっくりと引き出してください。



6　ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

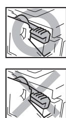


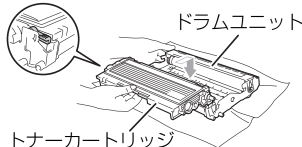
7　ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

つまった記録紙があるときは、取り出します。

8　トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。





9　本製品にドラムユニットを取り付ける

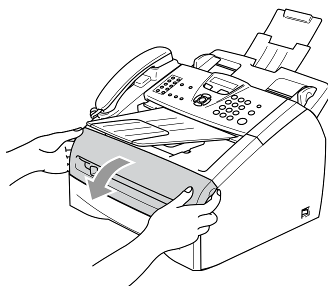
10　フロントカバーを閉じる

11　記録紙トレイを本製品に戻す

背面に記録紙がつまったときは

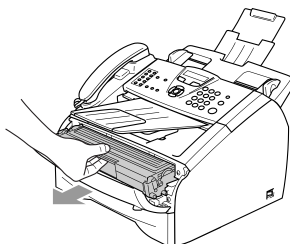
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

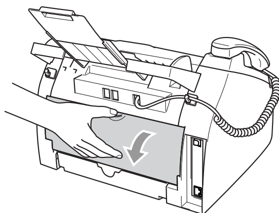


3 ドラムユニットを本製品から取り出す

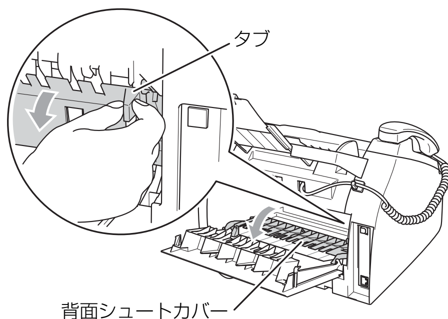
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



4 バックカバーを開く

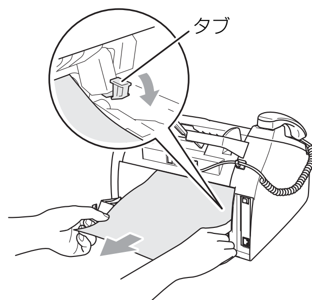


5 タブをつまみ、背面シュートカバーを開く



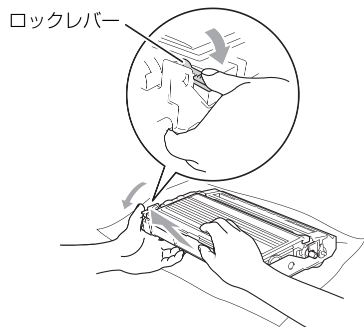
6 つまった記録紙を引き出す

簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらず、片方の手で青色のタブを押し下げ、もう一方の手でつまった記録紙をゆっくり引き抜いて取り除きます。



7 背面シュートカバーを閉じ、バックカバーを閉じる

8 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

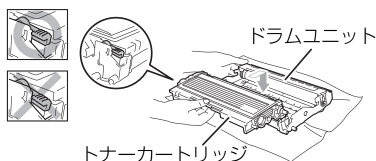


9 ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

つまった記録紙があるときは、取り出します。

10 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



11 本製品にドラムユニットを取り付ける

12 フロントカバーを閉じる

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをお勧めします。
・記録紙トレイ　・スキャナーウインドー　・ドラムユニット　・コロナワイヤー　・給紙ローラー

⚠ 警 告

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

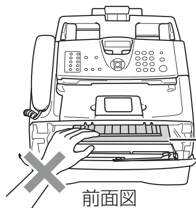


■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

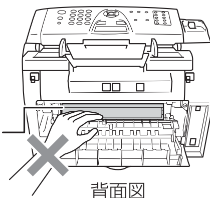
⚠ 注 意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。





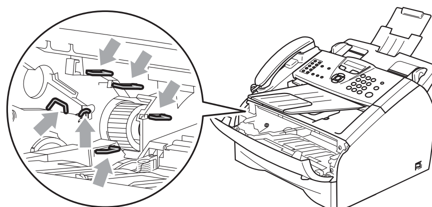
前面図



背面図

注 意

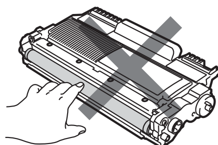
■本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。



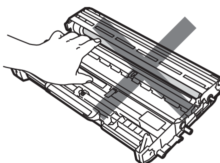
■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■トナーカートリッジ、ドラムユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

＜トナーカートリッジ＞



＜ドラムユニット＞

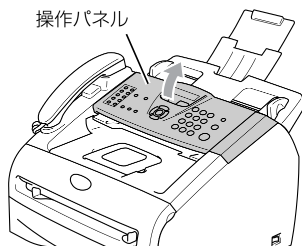


■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

スキャナー（読み取り部）の清掃

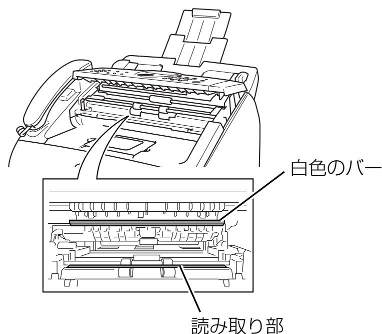
いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

1 操作パネルを開く



2 柔らかい布にOAクリーナーを浸して、以下の部分をきれいに拭く

- 読み取り部
- 白色のバー



補足

無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご使用ください。

3 操作パネルを閉じる

注意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

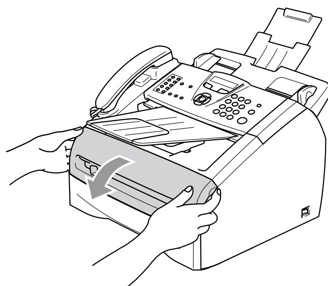
スキャナーウインドーの清掃

注意

■スキャナーウインドーはアルコールを浸した布で拭かないでください。

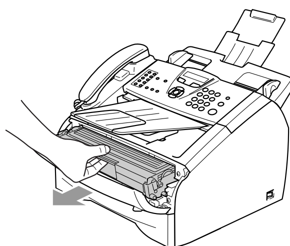
1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 フロントカバーを開く



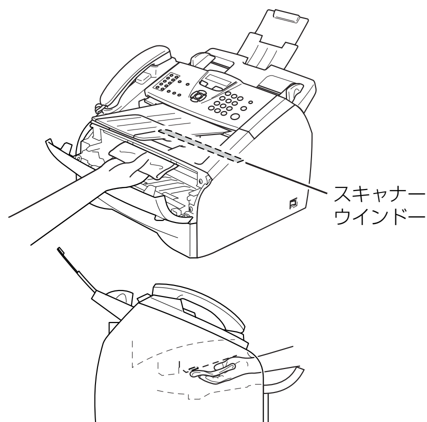
3 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



4 柔らかい乾いた布でスキャナーウインドーをきれいに拭く

スキャナーウインドーが汚れると、薄い印刷になります。



5 本製品にドラムユニットを取り付ける

6 フロントカバーを閉じる

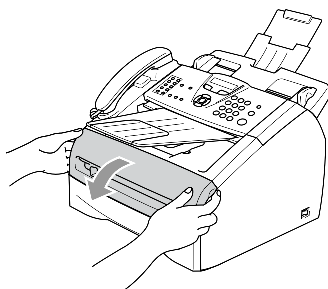
7 電源スイッチをONにする

ドラムユニットのお手入れ

以下の操作でコロナワイヤーの清掃を行ってください。

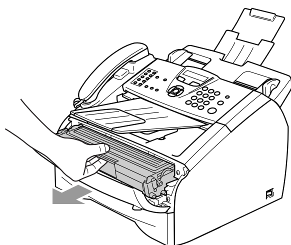
1 **電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ**

2 **フロントカバーを開く**

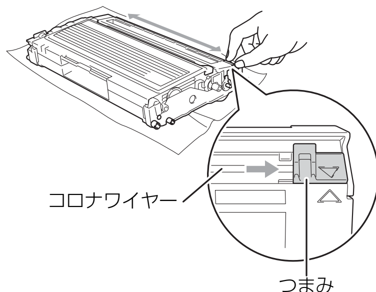


3 **ドラムユニットを本製品から取り出す**

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



4 **青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する**



5 **青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻す**

6 **本製品にドラムユニットを取り付ける**

7 **フロントカバーを閉じる**

8 **電源スイッチをONにする**

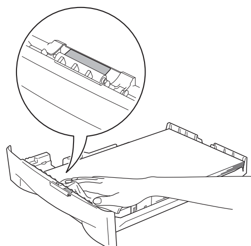
給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

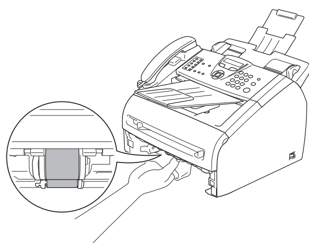
1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 記録紙トレイを完全に引き出す

3 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内のグレーのパットを拭く



4 本製品内部にある給紙ローラー（2つ）を拭く



5 記録紙トレイを本製品に戻す

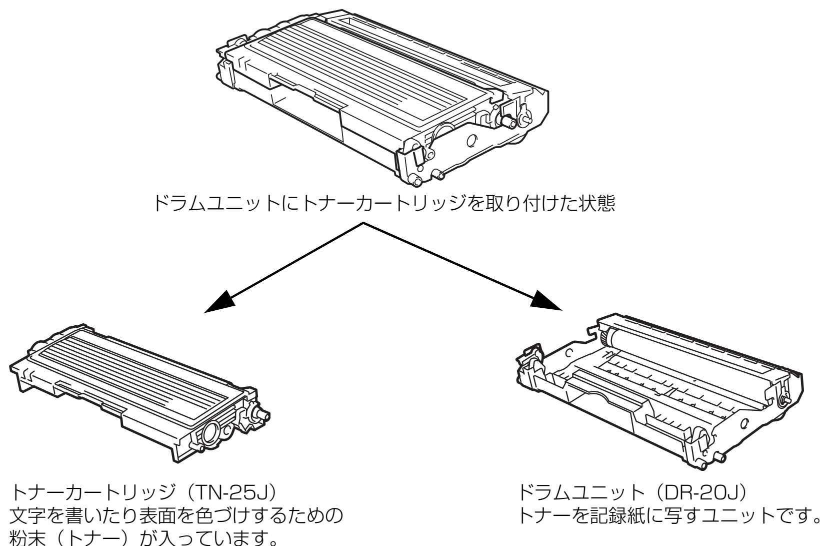
6 電源スイッチをONにする

《消耗品の交換》

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



交換のしかたについては、⇒141ページ「トナーカートリッジ交換のしかた」、または、⇒144ページ「ドラムユニット交換のしかた」を参照してください。

補足

本製品に付属のトナーカートリッジは約1500枚※印刷できます。
トナーカートリッジ（TN-25J）は約2500枚※印刷できます。
ドラムユニット（DR-20J）は約12000枚印刷できます。
※A4を印刷密度5％で印刷した場合

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話による注文も承っております。

【ご注文先】

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
インターネット　：http://direct.brother.co.jp
携帯サイト　　　：右の二次元コードにアクセス
フリーダイヤル　：０１２０－１１８－８２５
（土･日･祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時）



トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒14ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの残量を検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。トナーが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

マモナク　トナー　ギ゛レデ゛ス

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

トナーガ゛　アリマセン

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

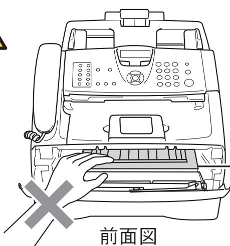
補足

- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「ﾏﾓﾅｸ　ﾄﾅｰ　ｷﾞﾚﾃﾞｽ」のメッセージが表示されてから約100ページを印刷した頃が交換の目安です。（A4サイズ／印刷密度5％の場合）
- トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。⇒133ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

⚠注意

■ 本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。





前面図

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ トナーがこぼれたときは、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、火災や故障の原因となります。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■トナーカートリッジは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（商品名：TN-25J）をご使用ください。⇒138ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

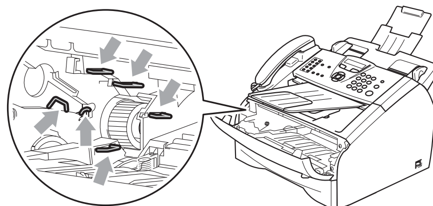
■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

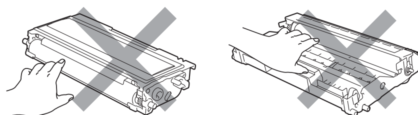
■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。



■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

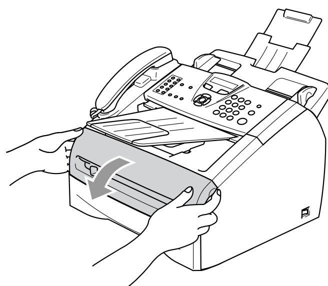


※新品のトナーカートリッジが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジ交換のしかた

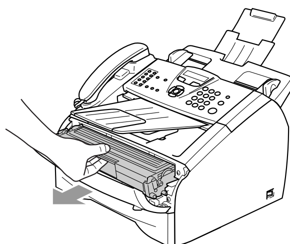
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

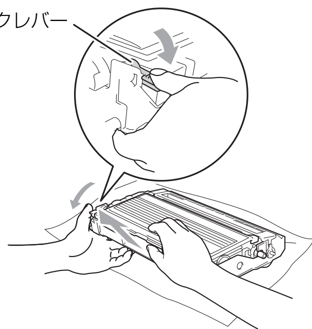


3 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

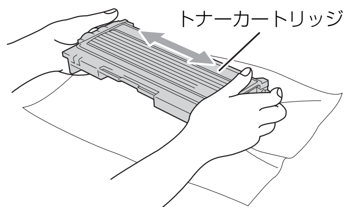


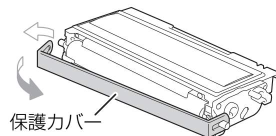
4 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、古いトナーカートリッジを取り出す



5 新しいトナーカートリッジを開封して取り出す

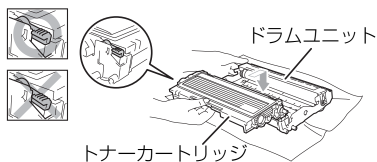
6 トナーカートリッジを左右に５、６回ゆっくりと振ってから、黄色の保護カバーを取り除く



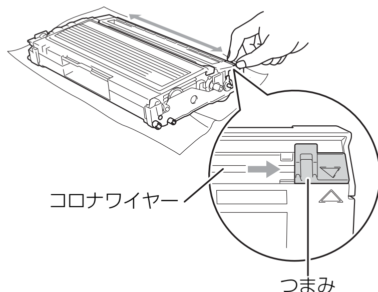


7 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

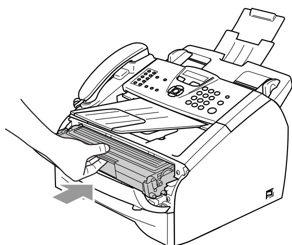


8 青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する



9 青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻す

10 本製品にドラムユニットを取り付ける



11 フロントカバーを閉じる

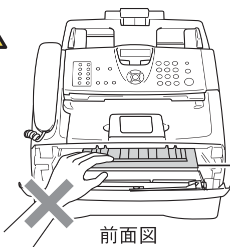
ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムユニットの交換を促がすメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。
液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒14ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

⚠ 注 意

■ 本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。





前面図

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ トナーがこぼれたときは、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、火災や故障の原因となります。

注意

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。
■ドラムユニットは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（商品名：DR-20J）をご使用ください。⇒138ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
■ドラムユニットを交換した後は、本製品をきれいに清掃してください。
■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
※新品のドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

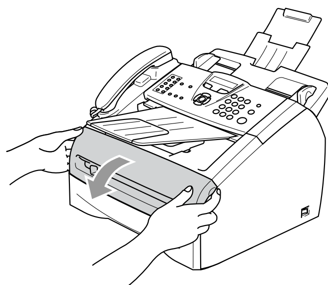
補足

● 液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
●「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。⇒133ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

ドラムユニット交換のしかた

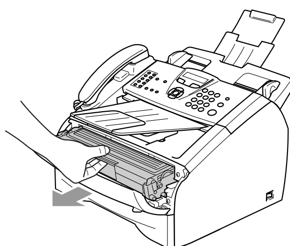
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

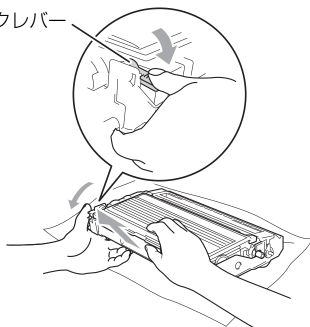


3 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



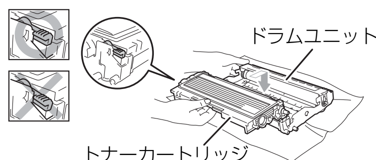
4 ドラムユニットの青色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す



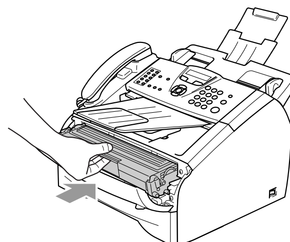
5 新しいドラムユニットを開封して取り出す

6 トナーカートリッジを、新しいドラムユニットに装着する

このとき、青いロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



7 本製品にドラムユニットを取り付ける



8 フロントカバーが開いていることを確認する

9 オプション／コピー を押す

ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾏｼﾀｶ?

1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ

10 1（ア）を押す

液晶ディスプレイに「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。

11 フロントカバーを閉じる

製品情報

シリアル番号を確認する

本製品のシリアル番号を確認します。

1 Menu Set 5 1 を押す

2 シリアル番号を確認して 停止/終了 を押す

印刷枚数を確認する

本製品は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

1 Menu Set 5 2 を押す

「ゴウケイ」「コピー」「プリンタ」「ファクス/リスト」のカウンター値が表示されます。

2.インサツマイスウ ヒョウジ

2 ▲▼で表示する項目を選択する

ゴウケイ :XXXXXX

コピー :XXXXXX

プリンタ :XXXXXX

ファクス/リスト :XXXXXX

3 印刷枚数を確認して 停止/終了 を押す

ドラム寿命を確認する

ドラム寿命は、以下の操作で確認できます。

1 Menu Set 5 3 を押す

液晶ディスプレイに2秒間、ドラム寿命が表示されます。

ノコリ: XX%

補足

- 「0%」と表示されても、印刷することができますが、早目にドラムユニットを交換してください。
- ドラムユニットは消耗品のため、定期的に交換する必要があります。実際のドラム寿命は温度、湿度、記録紙のタイプ、使用するトナー、印刷ジョブあたりのページ数など、多くの要因に影響されます。表示されたドラム寿命は目安とお考えください。

2 ドラム寿命を確認して 停止/終了 を押す

《設定機能の初期化》

初期状態に戻す

登録した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去したりすることができます。

注意

■初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。⇒115ページ「電話帳リストを印刷する」を参照してください。

■セキュリティ機能の操作ロックと設定ロックが「On」になっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。操作ロックと設定ロックを「Off」にしてください。⇒64ページ「セキュリティ機能の設定について」を参照してください。

個人情報を消去する

注意

メモリに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認の上、消去してください。

次の内容を一度にすべて消去することができます。

登録内容	参照先
お客様の名前・電話番号	⇒46ページ「名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕」
セキュリティ機能の操作ロックと設定ロックで設定したパスワード	⇒64ページ「セキュリティ機能の設定について」
発信履歴（再ダイヤル機能）の内容	⇒78ページ「同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕」
送付書のコメント	⇒83ページ「送付書のオリジナルコメントを登録する」
同報送信する相手先	⇒83ページ「同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕」
タイマー送信する相手の内容	⇒88ページ「指定時刻に送信する〔タイマー送信〕」
リモート起動番号	⇒93ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」
電話帳の内容	⇒98ページ「電話帳を作成する」
グループダイヤルの内容	⇒102ページ「グループダイヤルを登録する」
着信履歴の内容	⇒104ページ「着信履歴を確認する」
ファクス転送先の内容と転送設定解除	⇒106ページ「電話呼び出し機能とファクス転送」
メモリの内容（受信データ）	⇒108ページ「ファクスをメモリで受信する」
暗証番号	⇒109ページ「暗証番号を設定する」
通信管理レポートの内容	⇒115ページ「通信管理レポートを印刷する」
送信レポートの内容	⇒116ページ「送信レポートの出力設定」

1 Menu/Set 0 8 を押す

8.コジンジョウホウ クリア

2 1 を押す

1.ケッテイ 2.キャンセル

3 1 を押す

- 「ウケツケマシタ」と表示され、本製品が再起動します。
- 2 を押すと、設定メニューに戻ります。

機能設定をもとに戻す

本製品の設定を一度に、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 Menu/Set 0 9 を押す

9.キノウセッテイ リセット

2 1 を押す

1.ケッテイ 2.キャンセル

3 1 を押す

- 「ウケツケマシタ」と表示され、本製品が再起動します。
- 2 を押すと、設定メニューに戻ります。

《困ったときには》

困ったときには

こんなときには

本製品をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

- 液晶ディスプレイにエラーが表示される。............⇒ 149 ページ「エラーメッセージ」
- トラブルの原因が分からない。.......................⇒ 152 ページ「故障かな？と思ったら」
- 本製品の詳しい仕様が知りたい。..................................⇒ 178 ページ「本製品の仕様」
- 用語が分からない。..⇒ 181 ページ「用語集」
- 消耗品を注文したい。..⇒裏表紙

それでも問題が解決しないときはお客様相談窓口へご連絡ください。

エラーメッセージ

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、電源コードを抜いて電源をOffにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｱﾀﾗｼｲﾄﾅｰﾃﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾀﾞｼﾃ ﾓｳｲﾁﾄﾞ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていない。	トナーカートリッジを装着し直してください。
ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本製品に何らかの異常が発生した。	電源スイッチを Off にします。もう一度、電源スイッチを On にしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間 Off のままにした後、もう一度、On にしてみてください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ ﾏﾀﾊ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ﾄ ﾊｲﾒﾝｼｭｰﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	バックカバーが完全に閉じていないか、本製品の背面で記録紙がつまっています。記録紙がつまっている場合、カバーが閉じていてもこのメッセージが表示されます。	バックカバーを閉め直してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、つまった記録紙を取り除いてください。⇒131ページ「背面に記録紙がつまったときは」を参照してください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	フロントカバーが完全に閉じていません。	フロントカバーを閉め直してください。
ｷﾛｸｴﾗｰ ｶｲﾌｸﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	ドラムユニットもしくはトナーカートリッジが高温になっている。	冷えるまで約20分お待ちください。
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ｷﾛｸｼﾄﾚｲ ｦ ﾋｷﾇｲﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイで紙がつまっています。	⇒128ページ「紙づまりについて」を参照してください。
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ﾄ ﾊｲﾒﾝｼｭｰﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	本製品の背面で記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾞﾗﾑ ｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	本製品の内部で記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ﾏﾁｶﾞｲ A4ｻｲｽﾞﾉ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙サイズが間違っています。	A4サイズの記録紙をセットして、「ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ」の「ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ」を「A4」にして スタート を押してください。
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイに用紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットして スタート を押してください。 それでも問題が解決しないときは、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒137ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。	操作パネルを開け、原稿を取り除いて 停止/終了 を押してください。
ｼｮｷｶ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本製品に何らかの異常が発生した。	電源スイッチをOffにします。もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度、Onにしてみてください。
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	スキャナー（読み取り部）に何らかの異常が発生した。	
	本製品に何らかの異常が発生した。	
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ	相手との通信が切断された。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する。⇒152ページ「故障かな？と思ったら」を参照してください。 特定の相手で発生する。⇒71ページ「安心通信モードを設定する」を参照してください。
	相手がポーリングモードに設定していなかった。	相手先のポーリング設定を確認してください。
ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ	印刷するデータがメモリに残っています。	停止/終了 を押して、もう一度やり直してください。
	コンピューターと本製品のデータを転送中に接続されているケーブルが外された。	
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録されていない。	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルを登録してくだい。⇒98ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」、⇒100ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｱﾀﾗｼｲﾄﾅｰ ｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていない。	トナーカートリッジを装着し直してください。
	トナーがありません。	トナーカートリッジを交換してください。⇒139ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
ﾄﾞﾗﾑｴﾗｰ ﾄﾞﾗﾑ ｦ ﾄﾘﾀﾞｼ ﾄﾞﾗﾑ ﾉ ｱｵｲ ﾂﾏﾐｦ ｻﾕｳﾆ ｵｳﾌｸ ｻｾﾃｸﾀﾞｻｲ ﾂﾏﾐ ｦ（▲）ﾆ ﾓﾄﾞｼﾃｶﾗ ﾄﾞﾗﾑ ｦ ｲﾚﾅｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	コロナワイヤー（ドラムユニット）が汚れています。	コロナワイヤーを掃除してください。⇒136ページ「ドラムユニットのお手入れ」を参照してください。
ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞｷﾃﾞｽ	ドラムユニットの交換時期です。	印刷品質が目立って低下したらドラムユニットを交換してください。⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ	相手先が話し中か、応答がありませんでした。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する。⇒152ページ「故障かな？と思ったら」を参照してください。 特定の相手で発生する。⇒71ページ「安心通信モードを設定する」を参照してください。
ﾋｰﾀｰｶﾞ ｺｳｵﾝﾃﾞｽ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本製品の内部が高温になっている。 定着ユニットが高温になっている。	排気口が塞がれていないか確認してください。本製品から20cm以内に障害物があれば取り除いて、電源スイッチをOnにしたまま約10分お待ちください。
ﾋｰﾀｰｶﾞ ﾃｲｵﾝﾃﾞｽ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	定着ユニットが低温になっている。	電源スイッチをOnにしたまま約10分お待ちください。
ﾍﾝｺｳﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾈｯﾄﾜｰｸFAX ｦ OFFﾆｼﾃｸﾀﾞｻｲ	IPファクスの設定が「ｾﾝﾖｳ」または「ﾕｳｾﾝ」になっている。	IPファクスの設定を「OFF」にしてください。
ﾍﾝｺｳﾃﾞｷﾏｾﾝ IPｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ ｦ AUTOﾆ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	TCP/IP設定のIP取得方法が「Auto」以外に設定されている。	TCP/IP設定のIP取得方法を「Auto」に設定してください。
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰ ｷﾞﾚﾃﾞｽ	トナーの残りが少ない。	新しいトナーカートリッジを用意しておいてください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	メモリがいっぱいです。	メモリに蓄積してあるデータを消去してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** スタート を押してスキャンしたページを送信もしくはコピーしてください。または、停止/終了 を押してからもう一度、試してみてください。 **プリント中のとき** 解像度を下げてからもう一度、試してみてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））のQ&A をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源コードを抜いて電源をOffにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。⇒ 20 ページ「その他のご注意」を参照してください。
		本製品の設定が正しくされていますか。	本製品の設定内容を確認します。⇒ 67 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」を参照してください。
		NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしていますか。	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。
ISDN回線※	電話を受けても本製品のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、呼び出し続けている）	電話回線が正しく接続されているか確認します。	確実に本製品に接続します。⇒ 54 ページ「本製品の接続イメージ」を参照してください。
		本製品の電源スイッチが On になっていますか。	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたは最寄りのNTT におたずねください。
	1～2回おきにしか本製品が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
			ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報のアナログポートに本製品を接続している場合 • ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報を登録してください。 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ISDN回線※	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	相手側ターミナルアダプターの設定を確認します。	相手もISDN回線の場合、相手側ターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。	異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認します。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。
	NTTのナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本製品を接続しているターミナルアダプターのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認します。	ターミナルアダプターのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。	異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。
ADSL環境	ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSLのスプリッターが影響している可能性があります。	ADSLのスプリッターを交換すると改善する場合があります。 ブラザー推奨品：NTT東日本/西日本製
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。⇒20ページ「その他のご注意」を参照してください。 ラインセパレーターを使用すると、改善する場合があります。ラインセパレーターは、コンピューターショップでお買い求めになれます。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。		
	特定の相手との通信ができない。	IPフォンを使用した通信ではありませんか。 IP網を使用した専用線ではありませんか。	ご利用されているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。
PBX	着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。	着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いませんか。	本製品をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。⇒70ページ「特別回線対応を設定する」を参照してください。

※ ターミナルアダプターとダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」に設定してください。⇒44ページ「手動で回線種別を設定する」を参照してください。
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイが動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっていませんか。	VoIPアダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIPアダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信が出来ない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	
IPファクス	IPファクスで送受信できない。	①NTTのフレッツ 光ネクストに契約していますか。	NTTのフレッツ 光ネクストに契約し、専用のホームゲートウェイを設置してください。⇒69ページ「IPファクスの設定をする」を参照してください。
		②ホームゲートウェイの光ファイバーケーブル、LANケーブルが正しく接続されていますか。	配線の接続を確認してください。⇒57ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」を参照してください。
		③ホームゲートウェイの電源スイッチが On になっていますか。	電源スイッチがOnになっているときは、電源コードを確認してください。
		④ホームゲートウェイが正しく設定されていますか。	ホームゲートウェイの設定を変更した場合は、本製品の電源を入れ直してください。正しく設定されていても、うまくいかないときはNTTにお問い合わせください。
		⑤次世代ネットワーク（NGN）のサービスが、正常に提供されていますか。	最寄りのNTT窓口にお問い合わせください。
		⑥（送信時のみ）データコネクト設定の IP ファクスが、「OFF」になっていませんか。	「ｾﾝﾖｳ」または「ﾕｳｾﾝ」に設定してください。⇒ 69 ページ「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
		⑦TCP/IP設定のIP取得方法が、「Auto」または「DHCP」に設定されていますか。	「Auto」または「DHCP」に設定してください。⇒ 176 ページ「ネットワーク機能」を参照してください。
		⑧ホームゲートウェイの設定を変更していませんか。	本製品の電源を入れ直してください。
		⑨相手側の設定は正しいですか。	①～⑧を相手側に確認してもらってください。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入します。
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	操作パネルをもう一度閉じ直します。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用します。⇒40ページ「原稿について」を参照してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	複写機でコピーしてからファクスをします。
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。⇒129ページ「ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは」を参照してください。
	原稿が斜めになってしまう。	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせます。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。⇒129ページ「ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは」を参照してください。
	スタートを押しても送信または受信しない。	電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
		本製品に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本製品に接続されている電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。⇒43ページ「回線種別を設定する」を参照してください。
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認します。
	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナー部分を清掃します。⇒134ページ「スキャナー（読み取り部）の清掃」を参照してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信します。⇒80ページ「画質を設定する」を参照してください。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容はNTTの116番にお尋ねください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。⇒20ページ「その他のご注意」を参照してください。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の縞が入っているという連絡があった。	本製品のスキャナーが汚れているか、または受信側のプリンターのヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナーの清掃を行って送信します。⇒134ページ「スキャナー（読み取り部）の清掃」を参照してください。それでも現象が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。
		相手側のファクシミリの印字ヘッドが汚れていませんか。	相手側のファクシミリを確認してもらってください。コピーをとって、本製品が問題の原因ではないことを確認してください。
	リモート受信できない。	リモート受信の設定は「On」になっていますか。	リモート受信設定を「On」にします。⇒93ページ「リモート受信設定のしかた」を参照してください。
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。⇒93ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
		メモリがいっぱいになっていませんか。	メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。⇒89ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」、⇒108ページ「メモリに受信したファクスを印刷する」を参照してください。
	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットします。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
		記録紙がつまっていませんか。	本製品内部を確認します。⇒128ページ「紙づまりについて」を参照してください。
		記録紙がなくなっていませんか。	記録紙トレイを確認します。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
		フロントカバーは確実に閉まっていますか。	もう一度閉めなおします。
	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナー部分を清掃します。⇒134ページ「スキャナー（読み取り部）の清掃」を参照してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	コピーをしてみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。	正常なときは相手側のファクススキャナーが汚れている可能性があります。相手側のファクシミリを確認してもらってください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	本製品が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本製品の「ｼﾝｾﾂ　ｼﾞｭｼﾝ」が「On」に設定されていませんか。	本製品の「ｼﾝｾﾂ　ｼﾞｭｼﾝ」が「On」に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。停止/終了 を押します。「ｼﾝｾﾂ　ｼﾞｭｼﾝ」を「Off」にしてこの問題が解決できないか試してください。
	水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	回線状況が悪いと起こります。	相手にファクスを再送するように依頼してください。
	受信したファクスでページが分割されて2ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小が「Off」のときに、A4サイズより長いファクスを受信していませんか。	自動縮小を「On」にしてください。 ⇒90ページ「自動的に縮小して印刷する」を参照してください。
	ダイヤルできない。	電話機コード、電源コードが正しく接続されていますか。	電話機コード、電源コードの接続を正しく接続してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別の設定を確認してください。
	受信時に本製品が応答しない。	本製品が正しい受信モードに設定されていますか。	適切な受信モードに設定してください。
		オンフック/保留 を押して発信音はきこえますか。	電話機コード、電源コードの接続を確認してください。
		可能であれば、本製品にダイヤルしてみてください。	本製品を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
	本製品に接続されている電話機からダイヤル音が聞こえない。	本製品と接続されている電話機と本製品の電話機コードは正しく接続されていますか。	本製品に接続されている電話機が本製品の外付電話（EXT.）端子に接続されていることを確認してください。
	特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの設定が「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。
	送信確認レポートで「ｹｯｶ NG」と印刷される。	回線状況が悪いと起こります。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみます。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
	相手先で受信したファクスが鮮明でない。	本製品のスキャナーが汚れていませんか。	スキャナーを清掃してください。⇒134ページ「スキャナー（読み取り部）の清掃」を参照してください。
		画質の設定が適切ですか。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信してください。⇒80ページ「画質を設定する」を参照してください。
	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードの設定が「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。
	IP網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードの設定が「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。 送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを4つ）付けて送信してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	自動切替モードは着信がファクスでないことが分かると、呼び出し音を鳴らします。	受話器を取ってお話しください。
	ファクスを本製品に転送できない。	リモート起動番号を正しく入力しましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストの調整が濃すぎるか薄すぎていませんか。	コントラストを印刷条件に合わせて調整してください。お買上げ時は中央に設定されています。⇒123ページ「コントラストを調整する」を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
	色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い。	画質設定とコントラストを調整してください。	画質の設定を「テキスト」に設定し、コントラストのレベルを1～2上げてください。 ⇒126ページ「設定内容を保持する」を参照してください。
印刷（プリント）	印刷結果がかすれる。 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	トナー節約モードが「On」になっていませんか。	トナー節約モードを「Off」に設定してください。また、湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	⇒139ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
	印刷の質が悪い。		
	コンピューターから印刷できない。（右の順番に試してみてください。）	①本製品の電源スイッチがOnになっていますか。液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	電源スイッチをOnにしてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒149ページ「エラーメッセージ」を参照してください。
		②トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか。	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。
		③印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。［プリンタ］アイコンを開き、［プリンタ］から［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。 <Windows® 7> ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。 <Windows Vista®> ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。 <Windows® XP> ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	コンピューターから印刷できない。（右の順番に試してみてください。）	④「通常使用するプリンター」の設定になっていますか。	**Windows®の場合** ［プリンタ］アイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けます。 **Macintoshの場合** ［システム環境設定］－［プリントとファクス］の順にクリックし、［“プリント”ダイアログで選択されるプリンタ］で本製品を選択します。
		⑤［一時停止］の状態になっていませんか。	［プリンタ］アイコンを右クリックして、［印刷の再開］がメニューにある場合は一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。（Windows®のみ）
		⑥［オフライン］の状態になっていませんか。	［プリンタ］アイコンを右クリックして、［プリンタをオンラインにする］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインにする］をクリックしてください。（Windows®のみ）
		⑦印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	［プリンタ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブを右クリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。（Windows®のみ）
		⑧USBケーブルはコンピューターと本製品側にしっかりと接続されていますか。	本製品側とコンピューター側の両方のUSBケーブルをさし直してください。（USBハブなどを経由しては接続できません。）
		⑨以上の手順を全て確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、コンピューターを再起動し、本製品の電源スイッチをOnにしてみてください。	
		⑩ ①～⑨を全て確認してもまだ印刷できない場合には、プリンタードライバーをアンインストールして、「かんたん設置ガイド」に従ってもう一度インストールすることをおすすめします。 <アンインストールの方法（Windows®の場合）> ［スタート］－［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［FAX-2810N］－［アンインストール］の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
	本製品に給紙できない。	液晶ディスプレイに「ｷﾛｸｼ ｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ」と表示されていませんか。表示されている場合、記録紙トレイの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。	記録紙がないときは、記録紙トレイに記録紙を補給します。記録紙トレイの記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認します。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにします。記録紙を取り出し、裏返して、記録紙トレイに戻すとまっすぐにできます。記録紙トレイの用紙の枚数を減らしてもう一度試してください。それでも問題が解決しないときは、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒137ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
	使用できる記録紙。	普通紙、再生紙などを使用できます。 ⇒35ページ「記録紙について」を参照してください。	

こんなときは		ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	つまった紙の除去方法。	⇒128ページ「紙づまりについて」を参照してください。	
	コピーに縦の縞が現れる。	読み取り部と白色のバーが汚れていませんか。	読み取り部と白色のバーをきれいにしてください。⇒134ページ「スキャナー（読み取り部）の清掃」を参照してください。
		ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。⇒136ページ「ドラムユニットのお手入れ」を参照してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	本製品のコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。⇒136ページ「ドラムユニットのお手入れ」を参照してください。
	印刷されたページに白い線が現れる。	本製品のスキャナーウインドーが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナーウインドーを拭くと、この問題を解決できる場合があります。⇒134ページ「スキャナー（読み取り部）の清掃」を参照してください。 それでも白い線が現れたり、印刷結果が薄く、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒144ページ「ドラムユニット交換のしかた」を参照してください。
	印刷されたページが汚れていたり、線が縦方向に現れる。	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	本製品の内部とドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。コロナワイヤーの青いつまみが元の位置にあることを確認します。⇒136ページ「ドラムユニットのお手入れ」を参照してください。 清掃後も黒い線やトナーの汚れが現れ、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 スキャナー（読み取り部）の清掃を行うと解決できる場合があります。⇒134ページ「スキャナー（読み取り部）の清掃」を参照してください。
	印刷されたページの黒い文字やグラフィックス領域がところどころ白く欠ける。	設定した記録紙をセットしていますか。	設定に合った記録紙を使用してください。⇒59ページ「記録紙のタイプを選ぶ」を参照してください。 表面が粗い場合や用紙が厚い場合、この問題が発生することがあります。このような原因がないのに白い点が現れ、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。	本製品のスキャナーウインドーが汚れていませんか。	スキャナーウインドーの清掃をしてください。⇒136ページ「ドラムユニットのお手入れ」を参照してください。 それでもトナーが飛び散り、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	仕様に合った記録紙を使用してください。⇒35ページ「記録紙について」を参照してください。
	ページ全体が黒く印刷される。	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。⇒136ページ「ドラムユニットのお手入れ」を参照してください。 また、感熱紙はこの問題の原因になるので使用しないでしてください。 清掃後も印刷ページが黒くなり、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
	ページに何も印刷されない。	液晶ディスプレイに「トナーガ　アリマセン」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。⇒139ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
		スキャナーウインドーに、裂けた紙片が残っていませんか。	スキャナーウインドーに、裂けた紙片が残っていないことを確認してください。
	印刷されたページの中心やどちらかの端に汚れが現れる。	本製品を平らなところに設置していますか。	本製品が平らな面に設置されていることを確認してください。トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを取り外します。トナーカートリッジとドラムユニットを左右にゆっくりと振り、本製品に取り付けてください。
		本製品のスキャナーウインドーが汚れていませんか。	スキャナーウインドーを柔らかいきれいな布で拭き取ると、汚れたページの問題を解決できることがあります。⇒135ページ「スキャナーウインドーの清掃」を参照してください。 清掃後も汚れたページが発生し、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になることがあります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。 75mm 75mm 75mm 75mm	感光ドラムが汚れていませんか。	数ページ印刷すると、この問題が解決されることがあります。数ページ印刷しても解決されない場合は、汚れが感光ドラムに付着していることがあります。以下の手順にしたがってドラムを清掃してください。 ①印刷結果の黒点・白点を目安にして問題の場所を探します。 ②ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面に汚れがついている場所を手前にもってきます。 ③感光ドラムの表面についた汚れを綿棒でふき取ります。 【ご注意】 ・感光ドラムに傷を付けないよう注意してください。カッターやボールペンなど先のとがったものは使用しないでください。 ・ドラムが傷ついている場合は新しいドラムユニットに交換してください。 ⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
	背景がグレイになる。 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。 ⇒35ページ「推奨紙」を参照してください。 本製品が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。 ⇒139ページ「トナーカートリッジの交換」、 ⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	同じイメージが等間隔で繰り返し印刷される。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。⇒35ページ「推奨紙」を参照してください。粗い表面や厚い記録紙が原因になることがあります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。⇒139ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒143ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
	斜めに印刷される。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。また、記録紙ガイドがセットした用紙に正しく合わされているか確認してください。
	カールしたり波打って印刷される。	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。⇒35ページ「推奨紙」を参照してください。高温・高湿の場所に保管されていた記録紙を使用すると、カールしたり波打って印刷されます。
	しわが寄ったり折れ曲がって印刷される。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。記録紙を 180 度回転させてセットし直して印刷してみてください。
	印字面に触れると汚れる。	記録紙の設定より厚い紙をセットしていませんか。	記録紙の設定をし直してください。⇒59ページ「基本設定を変更する」を参照してください。
	記録紙がまるまって排出される。	記録紙の設定より薄い紙をセットしていませんか。	記録紙の設定をし直してください。⇒59ページ「基本設定を変更する」を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	**Windows®**		
ソフト	USBXXX：への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイに「ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。
ソフト	**Windows®またはMacintosh**		
ソフト	最初の数ページは正常に印刷するが、その後のページで文字が乱れる。	プリンターケーブルが正しく接続されていますか。	プリンターの入力バッファーがいっぱいになっているという信号をコンピューターが認識していません。プリンターケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
ソフト	文書のすべてのページが印刷されない。または、「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」というエラーメッセージが表示される。	解像度の設定が高くありませんか。	プリンターの解像度を下げてください。文書を簡単にしてもう一度印刷します。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らします。
ソフト	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタードライバーをインストールしてください。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
ソフト		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバーを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで適切なドライバーを選択していることを確認してください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。
その他	本製品に接続している電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話環境が影響している可能性があります。	受話器を上げて発信音（ツー音）を確認してから、ダイヤルしてください。

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、電源コードを抜いて電源を Off にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口へご連絡ください。

本製品を再梱包するときは

注意

■輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材や袋を使用してお買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材や袋は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。

■本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。

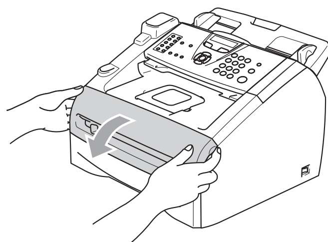
1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 コード、ケーブルを取り外す

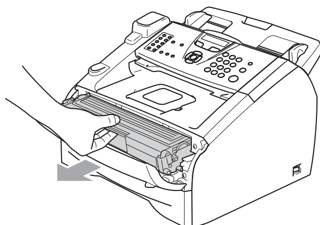
1 電源コードをコンセントから抜く
2 すべてのケーブルを取り外す
3 受話器を取り外す
4 原稿トレイを取り外す
5 原稿サポートを元に戻す

3 ドラムユニットを本製品から取り出す

1 フロントカバーを開く



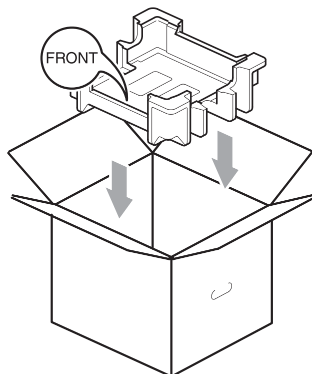
2 ドラムユニットを取り出す



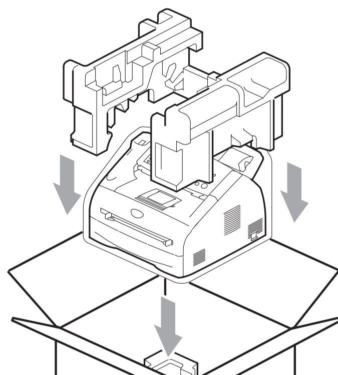
3 フロントカバーを閉じる

4 本製品や付属品を梱包する

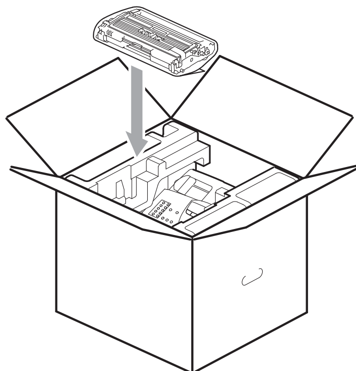
1 本製品や付属品をビニール袋に入れる
2 外箱に発泡スチロールをセットする



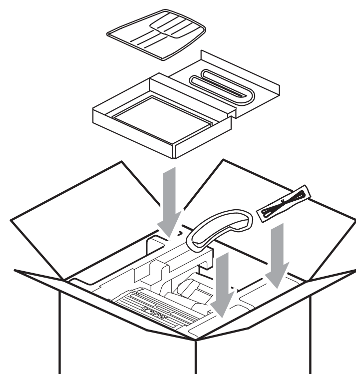
3 本製品と、もう 1 つの発泡スチロールを外箱に入れる
最初に入れた発泡スチロールの「FRONT」と本製品の前面を合わせてセットしてください。



4 発泡スチロールにドラムユニットをセットする



5 電源コード、受話器、原稿トレイ、取扱説明書などをセットする



6 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

8章

付　録

文字入力をする

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
1 ア	アイウエオァィゥェォ１
2 ABC カ	カキクケコＡＢＣ２
3 DEF サ	サシスセソＤＥＦ３
4 GHI タ	タチツテトッＧＨＩ４
5 JKL ナ	ナニヌネノＪＫＬ５
6 MNO ハ	ハヒフヘホＭＮＯ６
7 PQRS マ	マミムメモＰＱＲＳ７
8 TUV ヤ	ヤユヨャュョＴＵＶ８
9 WXYZ ラ	ラリルレロＷＸＹＺ９
0 ワ゛゜	ワヲン゛゜ー０
＊ 記号1 トーン	（スペース）！"＃＄％＆'（）＊＋，－．／€
＃ 記号2	：；＜＝＞？＠［］＾＿

文字の入れ方（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	0 ワ゛゜ ～ 9 WXYZ ラ を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズ を押す ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「―」（ハイフン）で表示されます。 ※発信元登録のときは、ポーズを入力できません。
文字を削除する	停止/終了 を押すとカーソルの位置から最後までの文字をすべて削除する
文字を変更する	◀ を押してカーソルを戻し、文字を入力する（上書きされます）
スペース（空白）を入れる	▶ を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは ▶（2 回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊ 記号1 トーン または ＃ 記号2）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶ を押してカーソルを１文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	Menu Set を押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
3 DEF サ を3回押す	ス
▶ を１回押す	ス＿
3 DEF サ を3回押す	スス
0 ワ゛゜ を4回押す	スス゛
2 ABC カ を2回押す	スス゛キ
▶ を2回押す	スス゛キ　＿
2 ABC カ を4回押す	スス゛キ　ケ
1 ア を2回押す	スス゛キ　ケイ
2 ABC カ を5回押す	スス゛キ　ケイコ

バックアップ用バッテリのリサイクルについて

- 本製品にはニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれているバッテリを取り外してください。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。貴重な資源を守るために廃棄される前に取り外してリサイクルにご協力ください。

バックアップ用バッテリの取り外し方

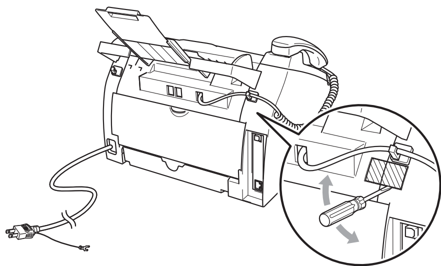
注意

■リサイクル時のご注意

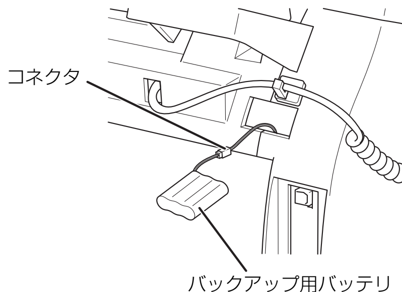
- コード先端をテープなどで絶縁して、ショートしないようにしてください。
- 外装カバー（皮膜・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池は分解しないでください。



1 バッテリの入っている溝にマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に倒してバッテリカバーのツメを折り、カバーを開ける



2 バッテリのコネクタを取り外す



補足

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人　JBRC（旧小形二次電池再資源化推進センター）
  （ホームページ：http://www.jbrc.com）
- ブラザーコールセンター
  （電話：0120-143-410）

事務所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-8
  （電話：03-3274-6911）
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒564-0045　大阪府吹田市金田町28-21
  （電話：06-6310-8863）
- ブラザーコールセンター
  （電話：0120-143-410）

機能一覧

初期設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
0. ショキ セッテイ	1. ジュシン モード	−	FAX＝ファクス センヨウ F／T＝ジドウ キリカエ ルス＝ソトヅケ ルスデン TEL＝デンワ	受信モードを設定します。	⇒52 ページ「受信モードを設定する」
	2. トケイ セット	−	−	現在の日付・時刻を設定します。	⇒45 ページ「日付・時刻を合わせる〔時計セット〕」
	3. ハッシンモト トウロク	−	ファクス デンワ ナマエ	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒46 ページ「名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕」
	4. カイセン シュベツ セッテイ	−	プッシュ カイセン ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS ジドウ セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒44 ページ「手動で回線種別を設定する」
	5. ダイヤルトーン セッテイ	−	ケンチ スル ケンチ シナイ	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒70 ページ「ダイヤルトーン検出の設定をする」
	6. トクベツカイセン タイオウ	−	イッパン ISDN PBX	回線種別を設定します。	⇒70 ページ「特別回線対応を設定する」
	7. ナンバー ディスプレイ	−	On Off ソトヅケデンワ ユウセン	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	⇒67 ページ「ナンバー・ディスプレイを設定する」
	8. コジンジョウホウ クリア	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	電話帳や着信履歴、メモリなどをすべて消去します。	⇒146 ページ「個人情報を消去する」
		2. キャンセル	−	設定メニューに戻ります。	
	9. キノウセッテイ リセット	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒147 ページ「機能設定をもとに戻す」
		2. キャンセル	−	設定メニューに戻ります。	

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
0. ショキセッテイ	0. ヒョウジゲンゴ (Local Language)	―	ニホンゴ English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒ 33 ページ「液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔日本語・English〕」

＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
1. キホンセッテイ	1. モードタイマー	―	0 ビョウ 30 ビョウ 1 フン 2 フン 5 フン Off	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「Off」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	⇒ 42 ページ「モードタイマーを設定する」
	2. キロクシタイプ	―	フツウシ フツウシ（アツメ） アツガミ チョウアツガミ OHP フィルム サイセイシ	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	⇒ 59 ページ「記録紙のタイプを選ぶ」
	3. キロクシサイズ	―	A4 B5 A5 A6 US レター	記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを設定します。	⇒ 59 ページ「記録紙のサイズを選ぶ」
	4. オンリョウ	1. チャクシン オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	着信音量を設定します。	⇒ 60 ページ「着信音量を設定する」
		2. ボタンカクニン オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒ 60 ページ「ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕」
		3. スピーカー オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	スピーカーの音量を設定します。	⇒61ページ「スピーカー音量を設定する」
		4. ジュワ オンリョウ	ショウ ダイ	受話音量を設定します。	⇒ 61 ページ「受話音量を設定する」

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照ページ
1. キホン セッテイ	5. ショウエネ モード	1. トナー セツヤク モード	On Off	トナーの使用量をセーブします。「On」に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒ 62 ページ「トナーを節約する〔トナーセツヤクモード〕」
		2. スリープ モード	00 : 05 : 99	スリープ状態になるまでの時間を0～ 99 分の間で設定します。消費電力を節約することができます。	⇒ 62 ページ「スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕」
	6. ガメンノ コントラスト	ー	ウスク コク	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	⇒ 63 ページ「液晶ディスプレイのコントラストを調整する」
	7. セキュリティ	1. セキュリティソウサロック	ー	パスワードにより、コピーやファクスなどの機能を制限します。受信したファクスやプリントは、印刷せずにメモリに蓄積されます。	⇒ 64 ページ「操作ロックとは」
		2. セキュリティセッテイロック	ー	パスワードにより、本製品の一部の設定を変更できないようにロックします。	⇒ 65 ページ「設定ロックのしかた」

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ カイスウ	00 : 04 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～ 10 回の間で設定します。	⇒ 53 ページ「呼出回数を設定する」
		2. サイ ヨビダシ カイスウ	08 15 20	「自動切替モード」のとき、本製品が着信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	⇒ 53 ページ「再呼出回数を設定する」

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	3. シンセツ ジュシン	On Off	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品の スタート を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒92ページ「親切受信で受信する」
		4. リモート ジュシン	On（#51） Off	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒93ページ「リモート受信設定のしかた」
		5. ジドウ シュクショウ	On Off	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒90ページ「自動的に縮小して印刷する」
		6. インサツ ノウド	▼ −□□■□□+ ▲	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	⇒90ページ「印刷の濃さを設定する」
		7. ポーリング ジュシン	ヒョウジュン キミツ タイマー	ポーリング受信を設定します。	⇒94ページ「本製品の操作で相手の原稿を受信する」
	2. ソウシン セッテイ	1. ゲンコウ ノウド	ジドウ ウスク コク	原稿に合わせて濃度を設定します。	⇒81ページ「原稿濃度を設定する」
		2. ファクス ガシツ	ヒョウジュン ファイン スーパーファイン シャシン	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	⇒80ページ「画質を設定する」
		3. タイマー ソウシン	シテイ ジコク= 00:00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒88ページ「指定時刻に送信する〔タイマー送信〕」
		4. トリマトメ ソウシン	On Off	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒88ページ「メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕」
		5. リアルタイム ソウシン	コンカイノミ：On コンカイノミ：Off On Off	メモリを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒84ページ「原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕」
		6. ポーリング ソウシン	ヒョウジュン キミツ	ポーリング送信を設定します。	⇒85ページ「相手の操作で原稿を送信する」

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照ページ
2. ファクス	2. ソウシン セッテイ	7.ソウフショ	コンカイノミ: On コンカイノミ: Off On Off プリント　サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒ 82 ページ「送付書を付けて送信する」
		8.ソウフショ コメント	－	送付書のコメントを作成します。	⇒ 83 ページ「送付書のオリジナルコメントを登録する」
		9. カイガイソ ウシン　モード	On Off	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒ 87 ページ「海外へ送信する〔海外送信モード〕」
	3. デンワチョ ウ　トウロク	1. デンワチョ ウ/ワンタッチ	－	ワンタッチボタン 1 ～ 20 にファクス番号や相手の名前を登録します。	⇒ 98 ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」
		2. デンワチョ ウ/タンシュク	－	3 桁の短縮番号（001 ～ 200）にファクス番号や相手の名前を登録します。	⇒ 100 ページ「短縮ダイヤルを登録する」
		3. デンワチョ ウ/グループ	－	複数の相手をグループ（1 ～ 8）として登録します。	⇒ 102 ページ「グループダイヤルを登録する」
	4. レポート セッテイ	1. ソウシン レポート	On On +イメージ Off Off +イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒ 116 ページ「送信レポートの出力設定」
		2. ツウシン カンリ　カンカク	レポートシュツ リョク　シナイ 50　ケン　ゴト 6　ジカンゴト 12　ジカンゴト 24　ジカンゴト 2　カ　ゴト 7　カ　ゴト	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒ 117 ページ「通信管理レポートの出力間隔を設定」
	5. オウヨウ キノウ	1. テンソウ/メ モリージュシン	Off ファクス　テンソウ デンワ　ヨビダシ メモリー　ジュシン	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。	⇒ 108 ページ「メモリー受信を設定する」
		2. アンショウ バンゴウ	アンショウバンゴ ウ:－－－＊	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ 109 ページ「暗証番号を設定する」
		3. ファクス シュツリョク	－	メモリー受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒ 108 ページ「メモリに受信したファクスを印刷する」

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照ページ
2. ファクス	6. ダイヤルセイゲン キノウ	1. チョクセツ ニュウリョク	On 2ド ニュウリョク Off		⇒ 79 ページ「直接入力を制限する」
		2. ワンタッチ ダイヤル	On 2ド ニュウリョク Off		⇒ 79 ページ「ワンタッチダイヤルを制限する」
		3. タンシュク ダイヤル	On 2ド ニュウリョク Off		⇒ 79 ページ「短縮ダイヤルを制限する」
	7. ツウシン マチ カクニン	－	－	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ 89 ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」
	8. アンシン ツウシン モード	－	コウソク ヒョウジュン アンシン	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	⇒ 71 ページ「安心通信モードを設定する」
	9. データコネクト セッテイ	1. IP ファクス	センヨウ ユウセン OFF	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒69ページ「IPファクスを設定する」
		2. ツウシンソクド	ジドウ ヒョウジュン コウソク	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	⇒ 69 ページ「通信速度を設定する」

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照ページ
3. コピー	1. コピー ガシツ	－	テキスト シャシン ジドウ	画質を調整します。	⇒ 126 ページ「画質の設定を変更する」
	2. コントラスト	－	▼ −□□■□□+ ▲	コントラストを調整します。	⇒ 126 ページ「コントラスト設定を変更する」

ネットワーク機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照ページ
4. LAN	1. TCP／IP セッテイ	1. IP シュトク ホウホウ	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IP 取得方法を設定します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		2. IP アドレス	－	本製品に割り当てるIPアドレスを指定します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		3. サブネット マスク	－	サブネットマスクの値を入力します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		4. ゲートウエイ	－	ゲートウエイアドレスを入力します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		5. ノード メイ	－	ノード名を入力します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		6. WINS セッテイ	Auto Static	WINS の解決方法を設定します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		7. WINS サーバ	－	WINS サーバーの値を入力します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		8. DNS サーバ	－	DNS サーバーの値を入力します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		9. APIPA	On Off	APIPA プロトコルを使用するかしないか設定します。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
	2. イーサネット	Auto	－	イーサネットのリンクモードが100BaseTX(全二重／半二重)、10BaseT（全二重／半二重）から自動的に選択されます。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		100B－FD	－	イーサネットのリンクモードが 100BaseTX Full Duplex に固定されます。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照ページ
4．LAN	2．イーサネット	100B－HD	－	イーサネットのリンクモードが 100BaseTX Half Duplex に固定されます。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		10B－FD	－	イーサネットのリンクモードが 10BaseT Full Duplex に固定されます。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		10B－HD	－	イーサネットのリンクモードが10BaseT Half Duplex に固定されます。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
	0．LAN セッテイ リセット	1．リセット	－	ネットワーク機能の設定をお買い上げ時の設定にリセットします。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」
		2．キャンセル	－	設定のリセットをキャンセルします。	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」

製品情報

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照ページ
5．セイヒン ジョウホウ	1．シリアル No.	－	－	シリアル番号を表示します。	⇒ 145 ページ「シリアル番号を確認する」
	2．インサツマイスウ ヒョウジ	－	ゴウケイ コピー プリンタ ファクス／リスト	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	⇒ 145 ページ「印刷枚数を確認する」
	3．ドラム ジュミョウ	－	－	ドラム寿命までの残り％が表示されます。	⇒ 145 ページ「ドラム寿命を確認する」

本製品の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T　グループ 3（Super G3）
通信速度	33600bps（自動フォールバック付き）
原稿サイズ幅	最大：257mm 最小：147.3mm
原稿サイズ長さ	最大：364mm 最小：100mm
有効読み取り幅	252mm
記録紙トレイ枚数	約 250 枚（80g/m^2）
記録紙サイズ	A4（幅 210mmx 長さ 297mm）
電送時間	3 秒台 *1
グレースケール	64 階調
液晶ディスプレイ表示	16 桁× 1 行
読み取り方式	CIS による平面走査
代行受信枚数	最大 1500 枚 *2
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査：3.85 本 /mm（標準） 7.7 本 /mm（ファイン／写真） 15.4 本 /mm（S. ファイン）
ポーリングタイプ	標準／機密／タイマー（タイマー：受信のみ）
適用回線	一般電話回線

*1：A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

*2：A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.38本/mm）で蓄積した場合（MMR圧縮時）

プリンター

対応コンピューター	IBM PC/AT 互換機 Apple 社製 Macintosh の USB ポート搭載機
対応 OS	Windows® XP/XP Professional x64 Edition Windows Vista®/Windows® 7 Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008（ネットワークプリントのみ）/2008 R2（ネットワークプリントのみ） Mac OS X 10.5.8、10.6.x
インターフェイス	Full-Speed USB2.0 インターフェイス 有線 LAN：10/100BASE-TX
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
印刷解像度	600 × 600 dpi
印刷速度	20 枚／分

電源と使用環境

使用環境	温度：10 ～ 32.5 ℃ 湿度：20 ～ 80%（結露なきこと）
電源	AC100V ± 10V　50/60Hz
消費電力※	待機時：80W 以下 ピーク時：840W 以下 スリープ時：10W 以下
稼働音	待機時：30dB 以下 動作時：53dB 以下
メモリ容量	32MB
外形寸法	374（横幅）× 374（奥行き）× 262（高さ）mm
質量（トナー／ドラムを除く）	約 7.35kg

※：電源スイッチがOffでも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源スイッチで本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品

トナーカートリッジ（TN-25J）	製品付属：約 1500 枚（A4 を印刷密度 5% で印刷した場合※） 約 2500 枚（A4 を印刷密度 5% で印刷した場合※）
ドラムユニット（DR-20J）	約 12000 枚※

※：印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。



外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

動作環境

OS	CPU/システムメモリ	必要なメモリ	推奨メモリ	必要なディスク容量	インターフェイス※1
Windows®					
Windows® XP Home Edition	Intel® Pentium® II プロセッサ相当	128MB	256MB	100MB	USB2.0 10/100 Base-TX (イーサネット)
Windows® XP Professional					
Windows® XP Professional x64 Edition	64 ビットのプロセッサ (Intel® 64 または AMD64)	256MB	512MB		
Windows Vista®	Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ (Intel® 64 または AMD64)	512MB	1GB	500MB	
Windows® 7		1GB (32-bit) 2GB (64-bit)	1GB (32-bit) 2GB (64-bit)	550MB	
Windows Server® 2003 ※2	Intel® Pentium® III プロセッサ相当	256MB	512MB	50MB	10/100 Base-TX (イーサネット)
Windows Server® 2003 x64 Edition ※2	64 ビットのプロセッサ (Intel® 64 または AMD64)				
Windows Server® 2008 ※2	Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ (Intel® 64 または AMD64)	512MB	2GB		
Windows Server® 2008 R2 ※2	64 ビットのプロセッサ (Intel® 64 または AMD64)				
Macintosh					
Mac OS X 10.5.8	PowerPC G4/G5 Intel® Core™ プロセッサ	512MB	1GB	80MB	USB2.0 10/100 Base-TX (イーサネット)
Mac OS X 10.6.X	Intel® Core™ プロセッサ	1GB	2GB		

※1：サードパーティ製のUSBポートはサポートしていません。
※2：ネットワーク接続によるプリント機能のみ

補足

- 最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp/) でご確認ください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語集

あ

● **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダー、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● **インターフェイス**
コンピューターと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。

● **液晶ディスプレイ**
本製品の液晶表示パネルです。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **機密ポーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● **キャリアシート**
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーするときに使います。

● **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

● **次世代ネットワーク（NGN）**
電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP 技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて受話器を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 枚目を希望枚数分、2 枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● **スプリッター**
ADSLという通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● **セキュリティ印刷**
コンピューターから文書の印刷を指示するとき、パスワードを設定して本製品のメモリにデータを保存します。印刷するときは、本製品の操作パネルからパスワードを入力することで印刷ができます。機密文書などを印刷するときに活用できます。

● **セキュリティ操作ロック**
ユーザーごとにパスワードを割り当て、コピー／スキャナー／ファクス送受信／プリンターの利用を制限できる機能です。

● **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿 1 部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

● **タイマー送信**
指定した時刻に送信する機能のことです。深夜や早朝など、電話料金が割引される時間帯を利用して通信すると経済的です。

● **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **データコネクト**
お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定した帯域確保型データ通信を実現するサービスです。データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

● **手差しスロット**
本製品で記録紙トレイにセットできない種類やサイズの記録紙を設定できるスロットです。セットできる記録紙について詳しくは、⇒ 35 ページ「記録紙について」を参照してください。

● **定着ユニット**
紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。本製品のディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、コンピューターで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス
1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 電話呼び出し機能
ファクスメッセージがメモリに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● 同報送信
同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● トナー
炭素を主成分とした粉末。これを紙に転写し、定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● トナーセーブ
使用するトナーを節約して印刷する機能です。

● ドライバー
本製品に付属されているソフトウェア。コンピューターと周辺機器の橋渡しを行います。プリンタードライバーや PC-FAX 機能などを持っています。

● 取りまとめ送信
メモリに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● ナンバー・ディスプレイサービス
「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● ファクス転送
ファクスメッセージがメモリに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタードライバー
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンターで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

● メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリに貯えてから送信する機能です。

● メモリ代行受信
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリに貯えておく機能です。

ら

● リアルタイム送信
メモリに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リダイヤル
相手先が話し中など、時間をあけて再びダイヤルをすることです。

● リモート受信
本製品に接続された電話機から本製品を操作する機能です。

● リモートセットアップ
本製品に対する機能設定をコンピューター上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）
コンピューターやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● 2 in1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4 in 1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本製品に送ります。

● ADSL
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CSV 形式
Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft® Excel® などの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。

● IP フォン
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダーで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN
NTT が行っている総合デジタル通信網サービスです。「INS ネット 64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線 2 本と同様な使い方ができます。

● ITU-T T.38
電話回線で使われるファクスの信号を、IP ネットワーク上で通信するために規定した規格です。

● MFC/DCP ドライバー
本製品に付属されているソフトウェア。プリンタードライバーなどを持っています。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、コンピューターの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピューター（IBM. PC/AT）の互換コンピューターに付いた名称です。日本では DOS/V コンピューターとも言われます。

● PC-FAX
コンピューターのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX のアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● USB ケーブル
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、コンピューターの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf 形式)
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● Windows® XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、Windows® 7
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ XP は 2001 年、XP Professional x64 Edition は 2005 年、Vista は 2007 年、7 は 2009 年に発売されました。

索　引

な

ね

は

ひ

ふ

ほ

め

も

よ

り

れ

わ

〈キリトリ線〉

リモート アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意: 間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえてからもう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容	ボタン操作
メモリー受信を解除（※1）	951
ファクス転送に設定（※2）	952
電話呼び出しに設定（※2）	953
ファクス転送番号の登録･変更	954+転送番号+##
メモリー受信を設定	956
ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	971

③

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号･転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

④

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート



サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

http://solutions.brother.co.jp/



携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からでも簡単なサポート情報をみることができます。



http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

0120-143-410

受付時間：月～金　9:00～20:00 /土　9:00～17:00

日曜日･祝日･弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス



複合機	1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。**※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
- **7日以内に修理品を返送。**
  弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

有償 サービスパック3･4･5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※各サービスパックについては、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
　引取り修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）0120-143-410（フリーダイヤル）」にご連絡ください。

トナーカートリッジ･ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ･ ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能･品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。（印刷物は2年です）



ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1